

しろあり

SHIROARI

THE TERMITE CONTROL CORPORATION OF JAPAN



NOVEMBER 1971

社団法人 日本しろあり対策協会

No.

15

目 次

巻 頭 言.....松 島 俊 之.....(1)

Sonic Detector によるシロアリの巢の探知.....山 野 勝 次.....(2)

2階建住宅の天幕燻蒸実施報告.....山 根 坦.....(13)

昭和46年度「しろあり防除施工士」資格検定試験結果の講評.....森 八 郎.....(19)

第14回通常総会開催報告.....(25)

協会のうごき.....(38)

しろあり防除施工士事業所一覧.....(41)

しろあり防蟻材料認定商品名一覧.....(52)

しろあり防除薬剤認定商品名一覧.....(53)

(表紙：シロアリの消化管に共生している原生動物)

日本しろあり対策協会機関誌 しろあり 第15号

編 集 委 員

昭和46年11月20日発行

森 八 郎 (委員長)

発 行 者 森 八 郎

雨 宮 昭 二*・芝 本 武 夫

発 行 所 社団法人 日本しろあり対策協会 東京都港区芝西久保
明舟町19番地 住宅会館(4階) 電話 (501) 3876番

神 山 幸 弘*・香 坂 正 二

森 本 博・河 村 肇

印 刷 所 株式会社 白 橋 印 刷 所 東京都中央区八丁堀4-4-4

(*印当番委員)

SHIROARI

(Termite)

No. 15, November, 1971

Published by the Termite Control Corporation of Japan

Shiba Nishikubo Akefune-cho 19, Minato-ku, Tokyo, Japan

Contents

Essay	(1)
Detecting Formosan subterranean termite nests by the Sonic Detector	Katsuji YAMANO.....(2)
Practical report on a methyl bromide fumigation with polyethylene sheets applied to a wooden two storied house.....	Hiroshi YAMANE.....(13)

地震としろあり



松 島 俊 之

私等が取り扱っている建築物については、わが国の自然条件は極めてきびしいものがある。毎年、夏から秋にかけて常連の客のように襲ってくる台風やそれにとまなう豪雨で、その都度相当数の建築被害を出している。

被害家屋の大部分は木造家屋であり、その原因の相当部分は骨組の老朽化にある。これをつまるところ腐朽菌やしろあり、きくいむし等の建築害虫のなせる業であることは、皆さんの常日頃ご指摘されているところである。

また最近では、多くの地震学者は大地震の近いことを予告している。専門外のこととしてその真相は詳らかにしないが、地震学の発達にともない示される数々の資料からすれば、あながち否定もできないようである。備えあれば憂なしとは古来の鉄則であり、まして国土の大部分が震源の巣の上に存在するとすれば、その対策の実施は焦眉の急を要するといっても過言ではあるまい。

建築物の耐震技術については、関東大地震を契機に一大飛躍をとげ、今日では既に諸都市に見られる超高層建築物の実現の域にまで達している。

しかしながら、残念なことには、わが国の社会資本としての建築物の大部分は木造建築物である。それも相当部分は、たとえ戦後に建築されたものでも、20年前後の年数を経過している。腐朽や虫害の進捗も思わざる程度に進んでいることは想像に難くない。

今や国民の大多数は、この招かざる客、地震に対して果してわが家が安全であるか否か大いなる不安をもっている。この事態に対処すべく、私ども日本建築士会連合会及び各都道府県の建築士会は、目下既存の木造建築物を中心に防災診断や防災補修等の対策の諸計画を進めている。

これらの計画の実施にあたっては、当然のことながら原因の防除技術と補修の施工技術の渾然たる融合が必要であることは言をまたない。

ここに貴会並びに会員諸兄とわれわれの緊密な技術の提携をお願いするとともに、この事業の達成に絶大なご協力を期待してやまない。

(社) 日本建築士会連合会会長)

Sonic Detector によるシロアリの巢の探知

山 野 勝 次

1. ま え が き

シロアリは社会性昆虫 (Social insect) で、女王や王といわれる生殖階級を中心に、多数の個体から成る組織だった家族生活を営んでいるので、その加害力もすこぶる強烈である。さらに、明るいところを避けて活動する習性があるので、人目につきにくく、被害の発見がなかなか困難である。

シロアリの被害を最小限に食い止めるには、何と言っても、平素から十分注意してシロアリの存在をできるだけ早く発見することが何よりも肝要である。また現に被害を発見し、シロアリを駆除する場合でも、繁殖の根源をなす巣を見つけ出し、これを撲滅するのが最も確実で、効果的な方法である。しかしシロアリの早期発見、とくに巣の探知は素人にはなかなかむずかしく、従来から主として専門家の経験的な勘によってなされてきている。ところが最近では、より科学的な方法の一つとして“Sonic Detector”と称するシロアリ探知機が試作、市販されている。

Sonic Detector は慶応大学森八郎教授が創案、電子測器K.K.で製作、市販されているもので、単にシロアリの探知のみならず、その生態研究にも役立つ目的で製作されたものである。

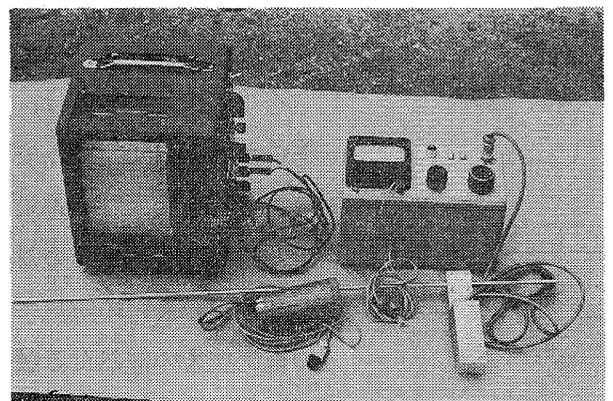
そこで、筆者はこの Sonic Detector がシロアリの巣の探知や生態研究に果してどの程度利用できるか、できれば今後のシロアリ探知や生態研究に役立てたいと考え、実際に使用してきた。まずはじめに、Sonic Detector 使用にあたっての基礎データを得るために、鳥栖白蟻実験所で飼育中のイエシロアリの巣を使って実験し、また実際の野外営巣についても機会あるごとに利用してきた。その結果、いまだそのデータは少なく、十分

なものではないが、一応の結果を得たので、今後のシロアリ探知や生態研究に役立てばと考え、ここにとりまとめて報告するものである。なお、本研究は、さきに鉄道技術研究所速報(国鉄部内用)として発表した。

2. Sonic Detector の概要

Sonic Detector はシロアリの食害音、歩行音、あるいは兵蟻の攻撃音などのような固体振動音や被害空洞を伝ってくる空気振動音を特殊のロッシュル塩ピックアップやマイクロホンで捕そくし、これを電気振動に変換、数個の真空管増幅器で増幅し、さらにフィルター・クリッパーなどを用いて、シロアリの活動音の主要部分を含む特殊の周波数範囲以外の雑音をできるだけ除去した後、イヤホン、出力計、スピーカーなどによって活動音を感知する小型携帯用電子装置である。

使用にあたっては、まず探知しようとする場所に Sonic Detector の金属製探知棒 (径4mm、長さ1m) をさし込み、Sonic Detector の捕音部を接続すれば、捕そくした音はレシーバーによっ



写真—1 Sonic Detector SD—1型(右)と記録計(左)
(手前は右からピックアップ、イヤホン、マイクロホン、長い棒が探知棒)

て聞くことができると共に、メーターの指示針によってその時の音の強さが指示されるようになっている。なお、感度調整器（ダイヤル(1)から(10)までである）によって音の感度を調整できるようになっている。

また、Sonic Detector に自記記録計（電子測器K.K.製品）を接続すれば、騒音レベルの時間的変化を記録することができる。自記記録計の記録紙の送り速度は2.5, 5, 10mm/secの3段階で、自由にかえることができるようになっている。

3. 実験材料ならびに方法

本実験は、主として鳥栖白蟻実験所のコンクリート製飼育槽と飼育ます（桝）にて飼育中のイエシロアリの巣を用いて行なったもので、実験に供した巣の概要を示せば第1表のとおりである。な

第1表 供試巣一覽表

巣の符号	採取場所()内は県名	採取年月日	実験室入巢年月日	巣の大きさ (cm) (縦×横×高)	備考
A	鳥栖 (佐賀)	1963. 6. 18	1963. 6. 18	40×40×40	※
B	肥後長浜 (熊本)	1963. 12. 14	1963. 12. 16	30×30×30	※
C	早岐 (長崎)	1964. 5. 13	1964. 5. 16	60×60×60	※
D	E飼育槽と連槽 (1964. 3. 9)				
E	芦屋 (福岡)	1964. 3. 8	1964. 3. 9	100×80×60	※
F	川棚 (長崎)	1963. 11. 13	1963. 11. 14	85×40×55	※
G	東唐津 (佐賀)	1963. 4. 5	1963. 4. 5	40×40×40	※
H	鳥栖 (佐賀)	1964. 7. 3	1964. 7. 3	75×55×45	※
I	東唐津 (佐賀)	1961. 9. 8	1961. 9. 9	60×100×80	
J	熊本 (熊本)	1961. 6. 1	1961. 6. 1	30×30×30	
K	喜入 (鹿児島)	1961. 6. 20	1961. 6. 27	30×30×30	
L	鳥栖 (佐賀)	1964. 9. 4	1964. 9. 8		
M	大村 (長崎)	1963. 10. 21	1963. 10. 22	30×40×100	

[注] ※印は飼育槽で周囲を土砂で埋めない状態で飼育しているが、その外は土中で飼育中のものである。

お第1表中、A～H巣は飼育槽で、I～M巣は飼育ますにて飼育した。

飼育槽は内径60cm、高さ90cmで、底部に砂利、次いで土砂を敷き、その上に巣を移し入れ、餌としての松材が巣の上あるいは側部に与えられている。本実験の場合、巣の上部や側部は土砂で埋めないで、巣は空中にさらした状態で飼育されている。なお、飼育槽の設置されている実験室は、冬期だけ電気ストーブである程度保温した。

一方、飼育ます（内径2.5×2.6m）では、各ますの中央におのおのイエシロアリの巣が1個ずつ埋め込まれ、時々散水はするが、冬期でも保温はせず、比較的野外営巣に近い状態で飼育している。

室内実験では、上記の巣に随時、探知棒（またはマイクロホン）をさし込んでシロアリの活動音を捕そく、記録し、それらについて考察したものであるが、同一巣の巣音測定にあたっては、各巣とも、毎回、ほぼ同じ箇所に探知棒をさそう（挿）入して測定することにした。

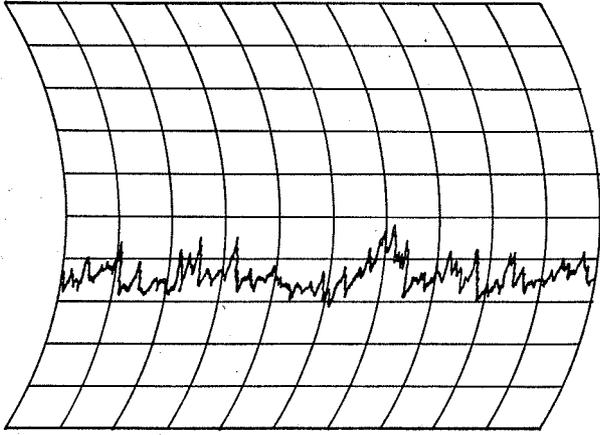
Sonic Detector には数種の型式のものが市販されているが、本実験に用いたものはSD-1型で、記録計による記録はすべて2.5mm/secで行ない、できるだけ他の雑音が混入しないように努めた。

4. 実験結果ならびに考察

4.1 イエシロアリの活動音

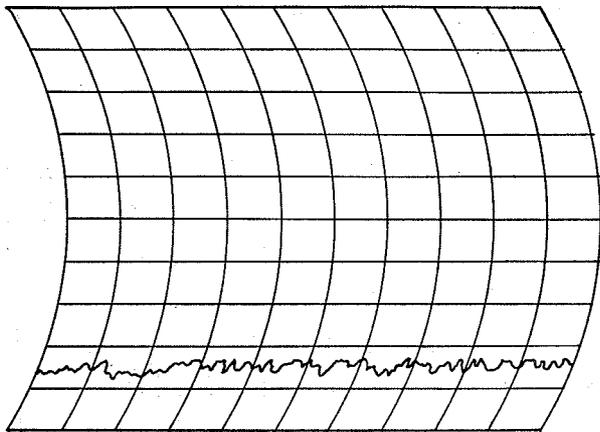
シロアリの発する音には、大別して食害音、歩行音、それに兵蟻の攻撃音の3種があると考えられる。害食音とはシロアリが木材その他の物質をかじる時の音であって、食害される物質やシロアリの個体数の多少によって異なるであろうが、多数のシロアリが木材を侵食するときの音を Sonic Detector でイヤホーンを通して聞くと、ネズミが木材をかじる時の音を多数集めて、小さくしたような、特異な音がする。第1図はシロアリの巣の上面に置かれた松材を多数のシロアリが食害している音を Sonic Detector 付属のマイクロホンで蟻土の上から捕そくしたものである。この音をイヤホーンで聞くと、他の音とは明らかに異なった食害音独特の特異な音が聞かれる。一般に多

数のシロアリによる食害音の記録曲線は、多数の小刻みな波型を描きながら、(ある程度感度を高めると)全体としてやや大きな、ゆるい波型を描くのが特徴である(第1図参照)。



第1図 シロアリの木材食害音(1964. 8. 27, H, 2)
〔注〕 ()内は測定年月日, 供試巣符号, 感度調整ダイヤル番号を示す。以下, 同様に記す。

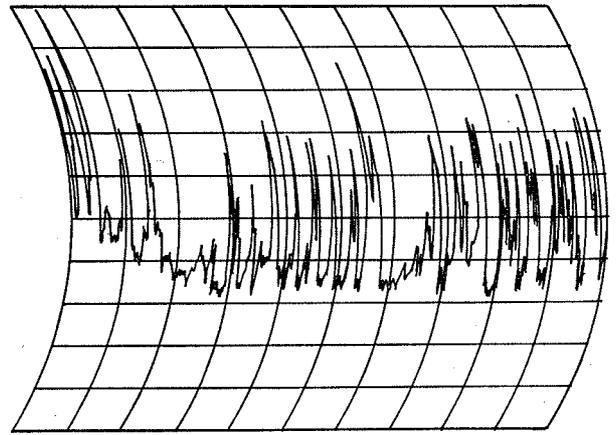
つぎに、歩行音はシロアリが歩く音であるが、これは意外に小さく、完全な防音設備のある部屋でないと、他の雑音が多くて歩行音だけを完全にキャッチすることはむずかしい。第2図は完全なものではないが、雑音の混入の少ない状態で、シャーレ内を数十頭の兵、職蟻が歩く音を記録したものである。



第2図 数十頭の兵, 職蟻がシャーレ内を歩く音(1964. 8. 27, 1)

シロアリの巣や食害箇所へ Sonic Detector 付属の探知棒をさし込むと、この外界からの異物に対して兵蟻が盛んにかみつぎ、攻撃してくる。この時に発する音が攻撃音であって、イヤホンで

聞くと、機関銃の発射音のような連続音が聞かれる。この音は他の音とちがって金属的な独特な音なので、シロアリの攻撃音であることははっきりと区別できる。攻撃音を記録紙に記録したものが第3図であって、鋭いピークが連続して多数描かれている。攻撃音はシロアリ活動音の最大の特徴であって、巣に探知棒をさし込んで、しばらくの間、聞かれる音は大部分がこの攻撃音によって占められている。



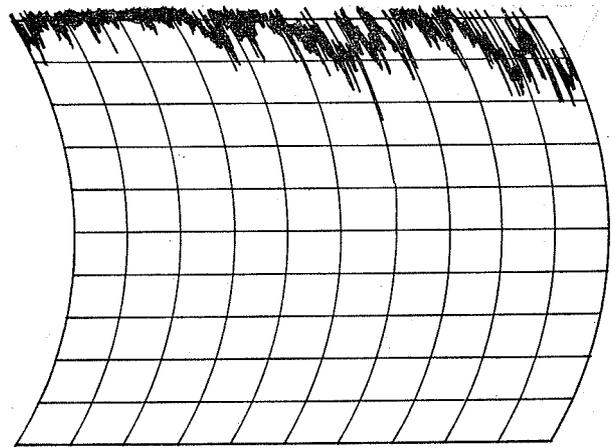
第3図 少数の兵蟻の攻撃音(1964. 8. 27, 2)

4. 2 シロアリ活動音の時間的変移

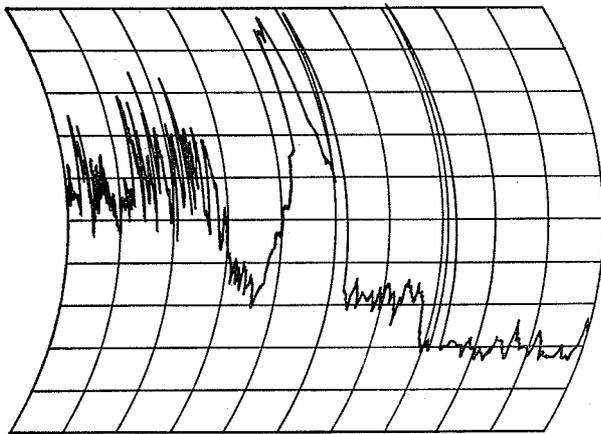
シロアリの巣に探知棒をさし入れた時、聞かれる巣内の騒音は、兵蟻の攻撃音や兵、職蟻の歩行音、その他の音が入り混ったものであって、平時と探知棒をさし入れるなどしてシロアリにショックをあたえた場合とでは巣音は当然異なるであろう。したがって、探知棒をさし入れ後、時間の経過につれて巣音は変化するものと考えられる。もちろん、季節(気温)、巣の状態、測定部位、環境などによっても異なるであろうが、まずシロアリ巣内の騒音は時間的にどのように変化し、探知棒をさし入れ後どのくらい経ったとき最も高くなるかについて調べることにした。このことは、今後、実際に野外営巣の探知や巣音測定にあたって、探知棒をさし入れ後、どのくらいして測定するのが最も適当かということにも関係してくるからである。

そこで、筆者は実験室内で飼育中の多くのイエシロアリの巣について、いろいろな時期に探知棒をさし入れ後の巣音の変化を調べてみたが、活動期における1例を示せば、つぎのとおりである。

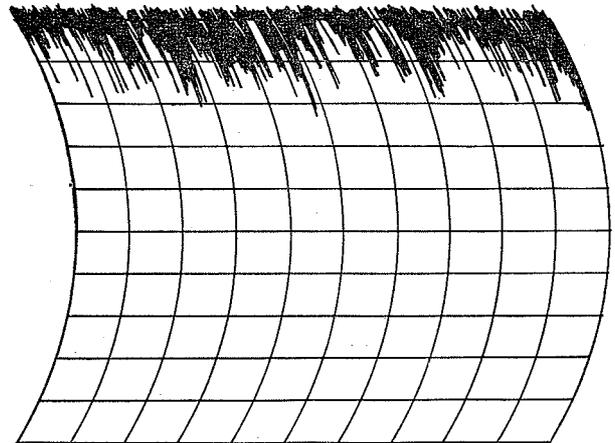
一般に、シロアリの活動期に巣に探知棒をさし込むと、間もなく(数十秒~1分ぐらいすると)、兵蟻の攻撃音を混えたシロアリ活動音が聞かれるが、その音は最初低く、少ない。しかし、そう入後、1, 2分を過ぎるところから巣音はしだいに高くなり、3, 4分ごろから急に高くなる。そして5~15分後には最高に達する。15~20分を過ぎるところからしだいに低下し始め、35~40分後にはかなり低くなるが、攻撃音は依然として多く、活発である。その後、1時間を過ぎると、巣音そのものは大分低くなるが、シロアリの活動音(攻撃音)をはっきり聞き分けることができる。



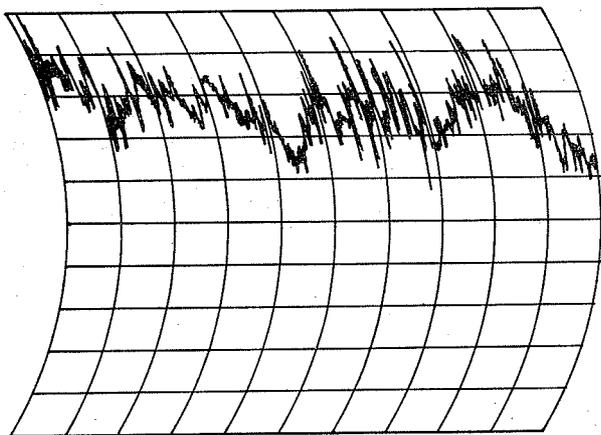
第6図 巣音の時間的变化(3) (約3分後)



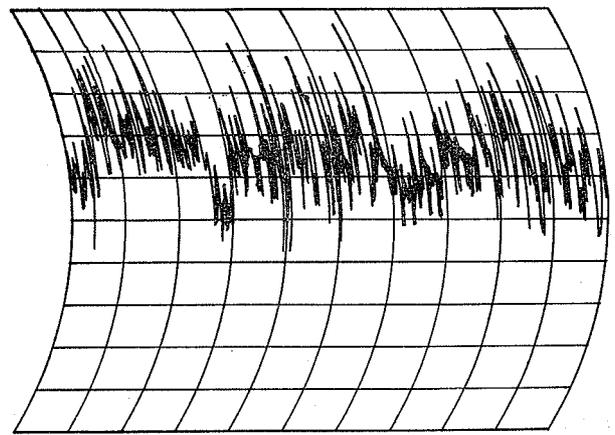
第4図 巣音の時間的变化(1) (探知棒そう入約1分後)
(第4~9図; 1964. 8. 26, H, 1)



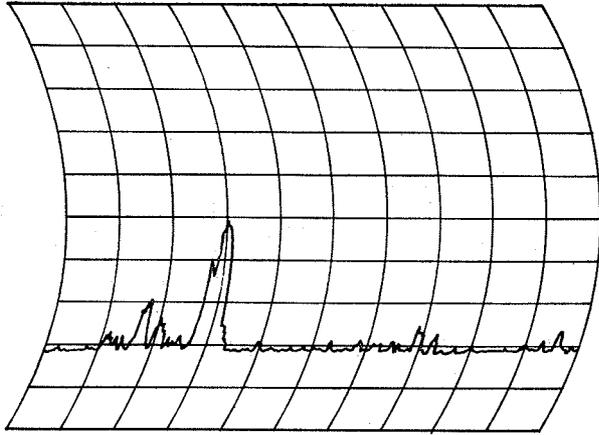
第7図 巣音の時間的变化(4) (約20分後)



第5図 巣音の時間的变化(2) (約2分後)



第8図 巣音の時間的变化(5) (約25分後)



第9図 巣音の時間的变化(6) (約1時間後)

以上は、探知棒のそう入によって巣内に大騒動が起こり、まずその場にいた兵蟻が盛んに探知棒にかみつき、攻撃してくる。職蟻や幼虫は逃げまどい、そのうち、附近にいた兵蟻もかけ寄ってきて、騒ぎはだんだん大きくなり、その騒音は最高に達するが、その後、しだいに騒ぎも静まり、巣の破損部の修理にとりかかり、さらに探知棒自身も蟻土によって埋め込まれていくためと推察される。したがって、実際の野外営巣の探知にあたっては、たとえシロアリの活動期でも、探知棒そう入後直ちにその音を聞いて、シロアリの活動音が聞えないからシロアリの巣はないものと速断するのはあまりに早計にすぎ、少なくともそう入後3、4分経過してからシロアリ活動音の有無を確かめるべきである。しかしあまり長時間経ってもかえって活動音は低くなるので、そう入後5～15分ごろが最も活動音を捕そくしやすい。なお、できれば、前もって探知しようとする箇所や被害箇所をたたくなどしてショックを与え、シロア리를驚かしておく効果的である。また気温が低くなるにつれてシロアリの活動も低下してくるので、活動音の高まりも遅くなり、捕そくも困難になってくるであろう。

また探知棒そう入後6日目(1962年8月7日)から23時間にわたって1時間ごとに巣音測定を行なった結果では、巣音の変化は気温の変化と関係があるようにみられたが、調査回数も少ないので今後、さらに追試しなければ何とも言えない。

4. 3 巣の活力と活動音

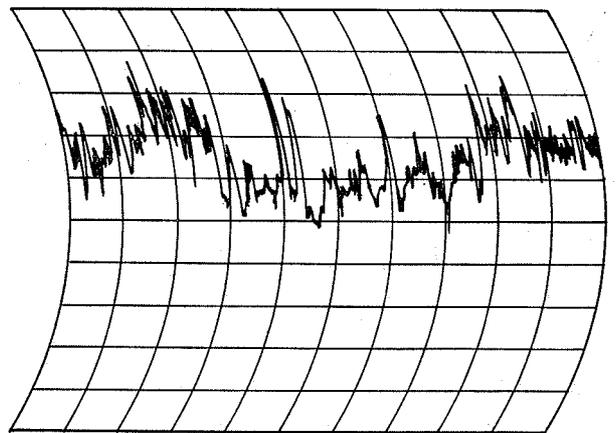
実験室でシロアリの巣を飼育すると、絶えず変化している各巣の活力(vitality)は外見上、大体見当はつけられるが、巣や蟻道をこわすことなく、その巣の活力を簡単に知ることはなかなかむずかしい。

たとえ大まかでも、巣内で活動中のシロアリの概数やその巣の盛衰を巣や蟻道をこわすことなく、容易に知ることができれば、非常に好都合である。

そこで、筆者はいろいろな時期にそれぞれ活力の異なる巣についてその巣音を調べてみた。その結果、季節(気温)や探知棒そう入位置その他によって巣音は異なるが、巣音と活力とは大いに関係があり、少なくともシロアリ活動期においては、巣音を調べることによって巣をこわすことなく、その巣の大体の活力を知ることができ、同一条件下における各巣の活力の相対的比較にかなり役立つことがわかった。

つぎにその1例として、1964年8月27日に、探知棒そう入後5～10分の各巣の巣音をほぼ同一条件のもとに測定、記録したもの(第10～13図)と、各巣の外見上の活動状況(見かけの活力)、Sonic Detector でイヤホーンを通して聞いた結果について述べる。

A巣は、餌として与えられた松材や巣の表面が蟻土でおおわれ、外見上、内部の様子はわからないが、蟻土でおおわれた部分をチョットこわしてみると、内部では非常に多数のシロアリが活動しており、松材の侵食量や活動中のシロアリの状態

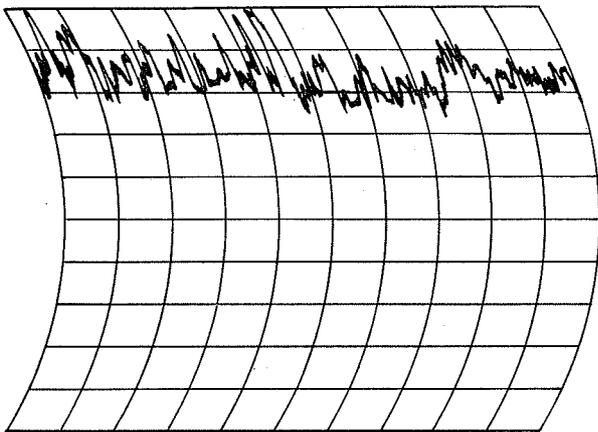


第10図 A巣の巣音(1964. 8. 27, A, 1)

などからして相当活発な巣であると推察された。Sonic Detector によると、多大な攻撃音が連続的に入り混って、ものすごい活動音が聞かれた。

E巣は大きな巣で、入槽当時は非常に活発な巣であったが、その後、活動が鈍り、飼育槽上部の松材に乳白色化した、つやのない、衰弱したシロアリが少数いるだけで、巣の活力も目立って低下し、死滅寸前にあるものと思われた。Sonic Detector でも、活動音(攻撃音)らしいものは全く聞かれなかった。当日、巣をこわして調べたところ、内部は完全に死滅し、1頭のシロアリも見かけることはできなかった。

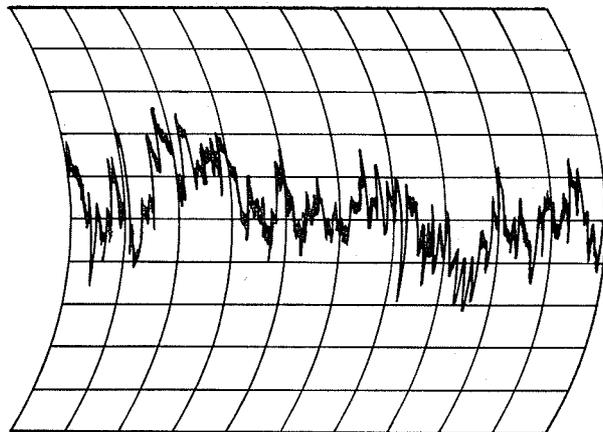
G巣の巣音を記録したものが第11図であるが、本巣は前述のA巣同様、餌の摂取量も多く、活発な巣であると推察された。



第11図 G巣の巣音(1964. 8. 27, G, 1)

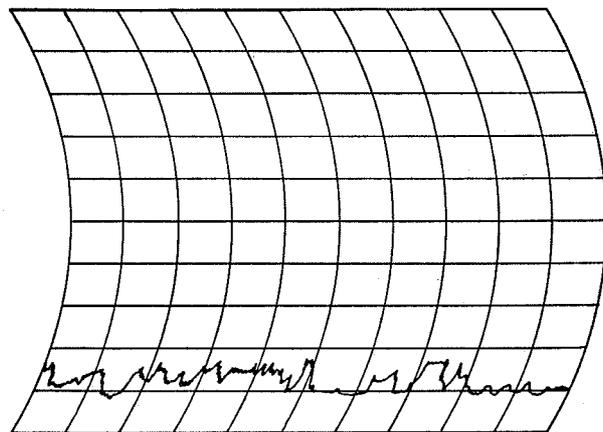
H巣は入槽して間もない巣で、しかも巣を完全に採取、移入できたこともあって、餌の侵食速度、蟻道(土)構築進捗も早く、飼育槽飼育巣のなかでは最も活発な巣であると推察された。とくに活力旺盛で、その巣音はすさまじい攻撃音を混えた、高い活動音が聞かれ、ダイヤル(1)でさえ、記録紙からはみ出して記録できないほどであった(第6, 7図参照)。

I巣は地中に埋めた状態で飼育しているので、その活動状況は外見上、一層わかりにくいですが、食害量、蟻道構築状態などからかなり活発な巣であると推察された。巣音は前述のA, H巣にはやや劣るが、多数の攻撃音を混えた、すさまじい活動音はまだまだその活発さを示しているようである。



第12図 I巣の巣音(1964. 8. 27, I, 1)

J巣は樹木の伐根に附着している、小さな巣で、集団の数も少なく、最近やや活力が衰えてきたようだが、外見上、内部の様子はわかりにくい。Sonic Detector によると、第13図のように、少数の攻撃音を混えた、低い活動音が聞かれ、内部ではまだ少数のシロアリが活動していることがわかった。その後しばらくして発掘して調べたが、シロアリの数は少なく、活発な巣ではなかった。



第13図 J巣の巣音(1964. 8. 27, J, 1)

M巣は樹木(ソテツ、径約50cm)の中に営巣されていたものを根幹ともごっそり移入したもので、シロアリの巣はそっくり樹木内部にあるので外部からはその様子はわかりにくいですが、その巣は大きく、非常に活発な巣であると思われた。その巣音は高い活動音と共に、攻撃音があまりに多数で、高く、連続的に聞えるので、あたかもグラインダーで金属を研磨しているような音となって聞

えた。その記録は、ダイヤル(1)で記録用紙をはみ出すほどであった。

以上は、それぞれ活力の異なる巣の同一時期における巣音の1例を示したものであるが、そのほか、筆者がこれまで Sonic Detector を使用してきた範囲では、Sonic Detector による巣音はそれぞれの巣の活力に相応した活動音を示しているようである。要するに、時期(気温)、環境、測定部位など同一条件のもとに用いれば、各巣の活力の盛衰はもちろん、巣内の活動状況、個体数の多少、ひいては各巣間の活力の比較にも役立つであろう。

4.4 シロアリ活動音と気温

シロアリの活動は温度によって影響されるので、その活動音(巣音)も当然気温の変化によって左右されるものと考えられる。そこで、筆者は巣音は季節的にどのように変化するか、また Sonic Detector による巣の探知は時期的にいつごろまで可能か、などを調べるために、1963年1～12月の1年間にわたって、毎月1回定期的に鳥栖白蟻実験所にて飼育中の巣についてその巣音を測定した。測定は冬期保温していない実験室内の巣について行なったもので、その記録は省略するが、その結果を要約すると、ほぼつぎのとおりである。なお、測定年月日と室温は第2表のとおりである。

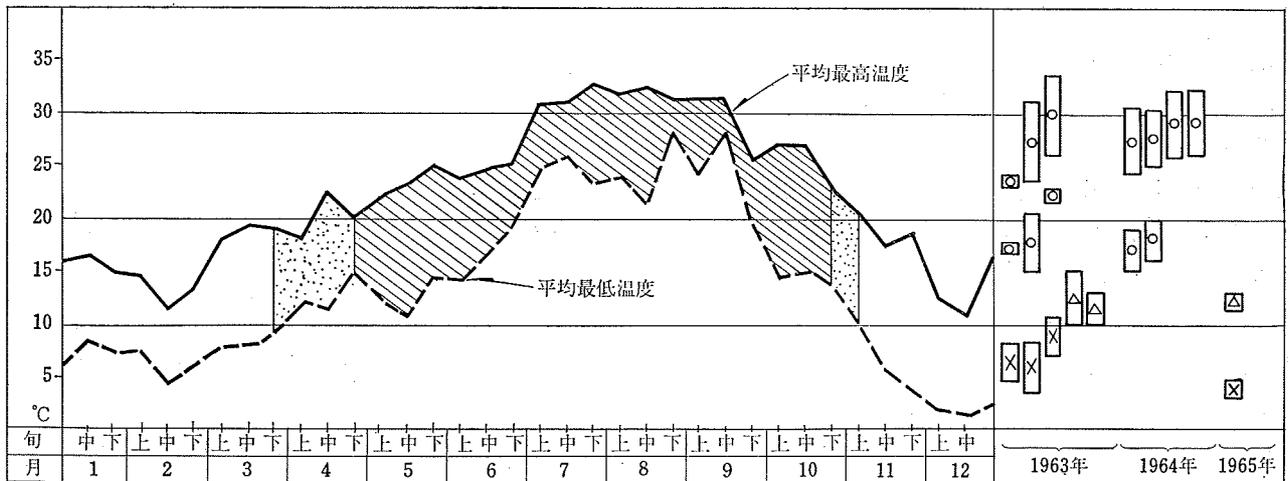
第2表 巣音測定日の室温

測定年月日	室 温 (°C)		
	最 高	最 低	測定時
1963. 1. 29	8.1	4.7	4.8
// 2. 27	8.3	3.4	6.8
// 3. 29	10.7	7.0	9.0
// 4. 30	17.7	16.7	17.1
// 5. 30	24.1	23.0	23.8
// 6. 27	31.1	23.6	29.6
// 7. 29	33.6	26.0	29.8
// 8. 28	—	—	29.4
// 9. 30	22.8	21.4	22.0
// 10. 29	20.5	15.0	15.9
// 11. 28	15.2	9.7	11.3
// 12. 25	13.0	10.0	10.3

巣音測定結果によると、1～3月は、シロアリの攻撃音はもちろん、活動音らしきものはほとんど捕そくできなかった。4月下旬になり、気温が目立って高くなってくると、シロアリの巣内でも継続的でやや低いが、攻撃音がかなり聞かれ始めた。さらに5月に入り、一段と暖かくなってくると、シロアリの活動も目立って活発となり、多数の、高い攻撃音が盛んに聞かれるようになった。6～8月は年間で最も活発な時期で、その巣音は9月下旬になってもほとんど衰えなかった。10月下旬にはまだ多数の攻撃音が聞かれたが、巣音自体、いく分低くなってきた。そして、11、12月には攻撃音は全然捕そくされず、活動音らしきものはほとんど聞かれなかった。一般に、気温が低くなるにつれて、巣音そのものも低く、少なくなっていくが、巣音が最高に達するまでの時間もより長くなっていく傾向がある。

つぎに最盛期を過ぎた秋期と冬期の巣音を、冬期だけ保温した巣と全然保温しないものについて測定した。その結果を要約すると、秋期(1964年11月2日、室温15.1～20.0°C)では、巣音の高まりが夏期のものにくらべてややおくれ、探知棒そう入5分後ではそう高くなく、10～12分ごろから攻撃音が目立って多くなり、巣音も高まって30分間ほど盛んな活動音が聞かれるが、活動期のものにくらべて全体的に巣音そのものが低い。そして1時間後には巣の騒音もかなり静まってくる。

冬期(1965年1月13日)、ある程度保温している巣では、探知棒そう入後5分間ほどシロアリの活動音らしきものは全然聞かれなかったが、7、8分ごろからコツコツと攻撃音が時々聞こえ始め、10～15分にはその音もかなり多くなって、20～25分ごろには活動期のものにくらべると、音は低く、攻撃音の数も少ないが、連続的な攻撃音を含む活動音が聞かれた。この活発な活動音も40～45分後にはいく分低下し始めてきた。このことから、冬期でもある程度保温されたところ(室温11.3～12.7°C)にある巣では、シロアリはまだ活動していることがわかる。したがって、巣の探知もできないことはないが、探知棒そう入後15～20分しないと、たとえ巣に探知棒が適中しても活動音をすぐ感知することはできないので、やはり巣探知の



(注) ×印：探知ほとんど不可能
 △印：探知可能だが、困難
 ○印：探知に適す

第14図 1964年旬日平均最高、最低温度と Sonic Detector による巣探知の難易

適期とは言えない。全く保温せず、自然のままの室温(3.0~4.7℃)で飼育している巣について、冬期(1965年1月13日)に、探知棒そう入後約1時間にわたって調査したが、活動音は全然キャッチできなかった。すなわち、冬期には探知棒がたとえ巣に適中しても反応がないので、冬期の巣探知は不可能である。

年間の気温の変化は年ごとに異なるであろうが、1例として1964年の最高、最低気温の旬日平均を算出、図示すれば、第14図のとおりである。なお、第14図の右欄は、Sonic Detector による巣音測定日の最高、最低気温と巣探知の難易を示したものである。

第14図によると、大体、最低気温が15℃以上の時期には Sonic Detector による巣の探知は容易である。10~15℃ぐらいでは探知できないことはないがむずかしく、適期とはいえない。さらに8~10℃になると、ほとんど巣の探知は不可能である。時期的にいえば、Sonic Detector による巣の探知は、北九州地方では、大体4月下旬から10月下旬ごろまでが適期であり、早くも3月下旬からおそくとも11月下旬ごろまで可能であるが、むずかしいであろう。もちろん、年ごとに気温の高低があり、また探知時刻、その他環境条件のちがによって多少異なることは言うまでもない。

4.5 野外営巣探知への利用

実際に、シロアリを完全に駆除するには、その巣を発見し、絶滅するのが最も効果的である。しかし、巣の探知、とくに建物その他をあまり破損せずに探知することはなかなか容易でない。そういう時、探知棒をさし込むだけでシロアリの活動音を捕そくし、巣を探知しようとする Sonic Detector は果して実際に役立つものかどうか。筆者は実際の野外営巣の探知に試験的に使用してきた。その結果、Sonic Detector さえあれば、誰でも、どんな巣でも百発百中、発見できるというものでは決してないが、ある程度シロアリについての知識と経験のある人であれば、その使い方によってはかなり有効で、便利である。では、実際の野外営巣の探知にあたって、どんな場合、とくに有効かつ便利であるか、筆者がこれまで利用してきた体験から、いくつかの実例をつぎにあげてみよう。

(1) コンクリートタタキ下営巣の場合

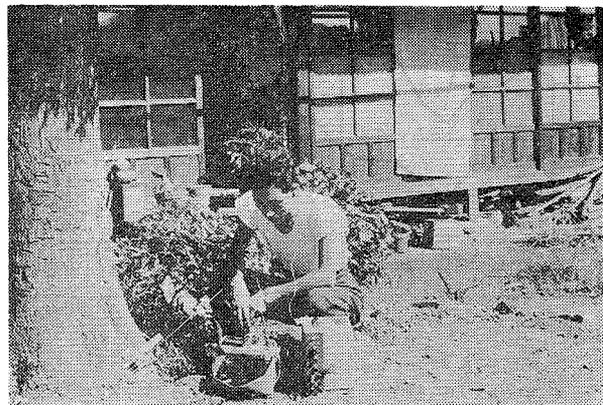
1963年6月18日、国鉄、鳥栖材修場より「一部の建物に最近シロアリの被害が発生し、昨夜、多数の有翅虫が群飛した形跡がある」との連絡を受け、調査に出かけた。被害建物は木造平家建(136m²)で、内部はコンクリートタタキである。まず土台から屋根裏まで綿密に調査した結果、土台と柱の一部に蟻道が認められ、附近一帯の様子から巣は同建物内部にあるものと推定された。そ

こで、たまたま床コンクリートタタキに生じていた亀裂数箇所を探知棒をさし込んで調査した結果、一部で、多数の攻撃音を混えた、盛んなシロアリ活動音がキャッチされ、簡単に営巣部位を確認できた。したがって、その部分のコンクリートタタキを破り、シロアリの巣を完全に摘出、絶滅することができた。場所が材修場だけに各種機械器具の騒音がひどかったが、イヤホンでシロアリの活動音をはっきりと区別でき、探知に大いに役立った。この場合、もし Sonic Detector を使用していなければ、たとえ巣を発見できたとしても、発見に手間どり、コンクリートタタキももっと広範囲に破損することになり、時間、労力修繕費もさらに多くを費やしたことであろう。

(2) 樹木内営巣の場合

国鉄大村線大村駅の駅本屋が数年来、シロアリの被害で困っているとのことで、1963年10月21日調査に出かけた。被害は、土台、柱、はり(梁)などがひどく、とくに駅本屋北端にある駅長室附近がひどかった。調査は、まず建物周辺部から広く行なうことにして周囲の木柵、植木類を調査中、たまたま駅長室横のソテツの立木の地上約50~100cmにある空洞部がシロアリの蟻土らしきものでおおわれているのを発見した。よく調べてみると、それは確かに蟻土であり、ソテツ樹のその部分から下部は腐朽かあるいは空洞が土砂で埋められているかのようにも見うけられた。そこで、その部分に探知棒をさし込むと約1mほど簡単にはいり、多数のすさまじい攻撃音を含んだ、高い活動音がキャッチされ、イエシロアリの本巣であることが確認された。筆者は巣を採取したかったので、直ちにその樹木を切り倒し、巣を完全に採取し、その後の被害を完全にいとめることができた。この場合、幸いにも Sonic Detector によってシロアリの巣をすぐ確認できたが、もし本機の使用がなければ、樹木は単なる被害箇所、空洞部の蟻土はただ単に表面のみをおおったものであって、その内部が金属棒が簡単にさう入できるほど柔らかでも腐朽によるものか、それとも空洞部に土砂が堆積したものかも知れないし、たとえその部分にシロアリがいても、内部のシロアリの数は多いかどうか、などを即座に、確実に知ること

はむずかしかったであろう。そして果して100年以上経過しているといわれる、りっぱな大ソテツの植木を切り倒すべきか否かを確信をもって即断することはむずかしかったであろう。

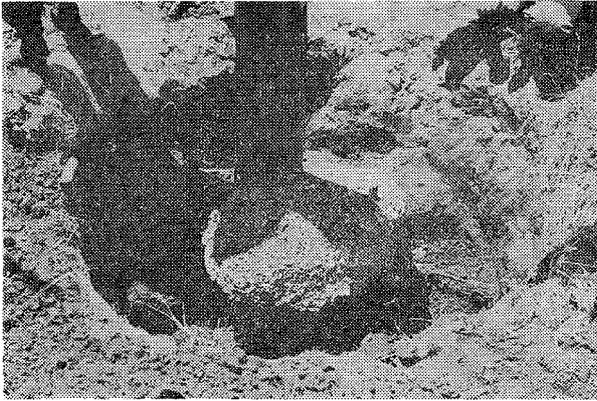


写真—2 Sonic Detector の探知棒を樹木の根元にさし込んでシロアリの活動音を調べているところ

(3) 電柱営巣の場合

シロアリの巣が電柱の内部あるいはその地下部に営まれていることはかなり多い。多くの場合、電柱地上部の割れ目などに蟻道や蟻土がつけられており、打診などしてよく調べると、シロアリ被害の有無やその程度は大体、判定できるものである。しかし、その電柱の内部あるいは地下部にシロアリの巣があるか否かは外見上からはなかなかわかりにくい。まして外部に蟻道(土)が現われず、電柱そのものが食害されていないときはなおさらである。かといって、巣の有無を確かめるためにいちいち掘って調べるのも、また大変である。

鳥栖市東町にある国鉄宿舍やその周辺のオフィスで、毎年シロアリの活動期になると、建物、タタミ、家具類がシロアリによって食い荒され、そのたびに被害建物を調査したが、巣は発見できなかった。ところが、1964年7月2日に再度、この被害地域を Sonic Detector で調査中、被害建物横の電柱下より兵蟻の盛んな攻撃音をキャッチし、電柱地下部に巣のあることを確認した。外部からはほとんどわからなかったが、電柱内部は地上3mほどがとくにひどく食害されており、中心部は空洞となっていた。そして電柱の“ねかせ”の部分に地下25cmから75cmにかけて営巣されていた(写真—3)。その後、附近の建物その他への被



写真—3 電柱地下部から発掘されたシロアリの巣

害は止まったので、恐らくこの巣が根源であったものと考えられる。

(4) 石垣内営巣の場合

国鉄久留米駅の1番ホーム南端の東側にある木造建物が4、5年前から活動期になると、建物のあちこちに被害が続出、建物や内部の品物が食い荒されていた。内部はコンクリートタタキであるが、その割れ目から蟻道を構築して侵入しており、どうしても巣が発見できないので、1963年夏にとりあえず建物だけは薬剤による防蟻処理を施した。しかし、翌1964年夏には、内部の品物が盛んに食い荒されるため、筆者は1964年9月12日徹底的に調査し、その巣を探知することにした。建物内部のコンクリートタタキを数箇所破り、Sonic Detector を駆使して調査したが、建物内部には巣が発見できなかった。同建物の西側は駅のプラットホーム、東側は石垣といった環境で、周囲はほとんどコンクリートであるため調査はなかなか困難であった。同建物から約25m離れた石垣の上部にコンクリート電柱があり、その横に古い木製電柱を切断した残部がそのままにされていた。切断面はかなり腐朽し、その上に土砂が堆積して外見上、シロアリがついているとは思えなかった。その腐朽部に Sonic Detector の探知棒をさし込んで調べたところ、石垣内の電柱にシロアリの巣があることがほとんど確実と考えられるほどの活発な活動音をキャッチした。その附近は駅前の市街地で自動車その他の騒音がひどかったが、シロアリの盛んな活動音はイヤホンではっきりと区別、確認できた。この電柱残部を薬剤で完全に処理したところ、その後、同建物に対する

被害は完全にとまった。この場合、Sonic Detector の使用がなかったら、巣の探知、確認はさらに困難で、多くの労力を費やしたものと考えられる。

(5) 木柵営巣の場合

1964年、国鉄行橋駅構内にある木造事務所と倉庫で、建物や内部のタタミ、品物がシロアリに加害されるため同年10月13日、調査に出かけた。被害建物周辺は多数の古まくら木から成る柵や電柱、木材類が多く、その上、あちこちで食害中のシロアリが発見されたため巣の発見は、最初困難視された。そこで、蟻道や被害状況からシロアリの巣がありそうな箇所を重点的に Sonic Detector で調べていくことにした。建物は、土台、柱、根太、大引など床下部がとくにひどく加害され、基礎コンクリートに蟻道も発見されたが、建物内部では巣を発見することはできなかった。次いで、建物周辺の電柱、植木、木柵とその周辺部を調査中、同建物裏の古まくら木製木柵の根元で活発なシロアリの活動音をキャッチ、巣を発見した。そのため、多数の古まくら木や木材類などで無駄な労力を費やすことなくして、比較的容易にその巣を発見することができた。

(6) タイル下や壁中営巣の場合

具体例は省略するが、建物自体をさほど損うことなく、浴場、洗面所などのタイル下あるいは壁や構造材中に営まれているシロアリの巣の探知または活動状況の調査にも Sonic Detector を役立つことができる。そのほか、シロアリの被害箇所や巣を薬剤で駆除処理する際、薬剤処理前後の活動音を調べることによって、シロア리를完全に死滅させ得たかどうかの判定の手段としても役立つ。

5. あとがき

以上、筆者が Sonic Detector を用いて行なった実験と、実際に使用した結果、有効かつ便利であった実例の一部について述べたが、実際には被害状況はそれぞれ千差万別であって、Sonic Detector さえ用いれば、必ず、どんな巣でも発見できるというものでは決してない。シロアリの巣の探知にあたっては、単に Sonic Detector だけに頼るのではなく、シロアリの生態に関する一応

の知識と経験が必要であって、その上で Sonic Detector を活用すれば、巣の探知に大いに役立つであろう。

なお、本実験では Sonic Detector SD-1 型を使用した。その後、さらに改良された SD-3 型が市販されている。筆者もその後の実験には SD-3 型を使用しているが、ポケットにはいる

程度の小型携帯用に改良され、持ち運びに便利になったこととトランジスターを使用して性能も向上し、比較的安価で入手しやすくなったことは、SD-3 型の特記すべき改良点であると考えられる。

(国鉄・鉄道技術研究所無機化学研究室)

2階建住宅の天幕燻蒸実施報告

山 根 担

米国における住宅のシロアリ駆除は、天幕燻蒸が常套手段となっているが、わが国においては、試験的に小規模な天幕燻蒸がごくまれに試みられることがある程度で、実際に人が現在住居している2階建住宅で天幕燻蒸が実施された先例がないから、これがわが国における第1号である(写真1参照)。筆者は従来より家屋や部屋を密閉して燻蒸した事例は、いくつかあるが、住宅全体を天幕で被覆して燻蒸した経験がないので、今回の実施に当たっては、慶大教授森八郎博士の来援を求め、同教授の指導により、万安を期して行なった。住宅の天幕燻蒸は、シロアリ・ヒラタキクイムシ・チビタケナガシクイなど木竹材害虫はもちろんのこと、衛生害虫のハエ・カ・ゴキブリ・イエダニからネズミにいたるまで、一切の害虫害獣を一挙に殺滅し、しかも防除施工後、少しの悪臭も残さないという最も優れた処理法であるから、わが国においても次第に実施例を増し、いつかは米国に劣らず常套手段となると信じるので、ここに今回の燻蒸作業の経過を報告し、一般の参考に供するしだいである。



写真1：2階建住宅の天幕燻蒸第1号

(1) 燻蒸場所と物件：岡山県倉敷市大島地区内
2階建瓦葺一般住宅，建坪約75m²（約22.7坪），
延坪約150m²（約45坪）

(2) 燻蒸期日と気象状態（第1表）：昭和46年
8月10～12日

第1表—気象状態

日	時刻 (時)	風向	風速 (m)	気温 (°C)	湿度 (%)	天気	最高 最低 気温
10	9	東	4.8	27.5	76	曇	(31.4)
10	15	東北東	5.7	31.3	61	うす曇	(24.4)
11	9	東南東	2.5	29.1	70	晴	(31.9)
11	15	〃	2.0	31.3	58	うす曇	(23.3)
12	9	西	2.7	29.8	69	晴曇	(32.6)
12	15	西南西	4.8	29.2	71	曇	(24.8)

(3) 燻蒸施工者：山根しるあり研究所

代表者 山根 担

燻蒸指導者：慶大教授 森 八郎博士

(4) 被覆用天幕：今回家屋の被覆に使用した天幕は、厚さ0.1mmのポリエチレン製風呂敷型（短形）28.5×23.5mのフィルムで、広幅（6m幅）のフィルムを家屋全体が完全に被覆されるように、メーカー¹⁾において接着させたものである。米国においては、広幅短冊型のものを現場で建造物の形に合わせて簡単につなぎ合わせる作業を行なうようであるが、今回は屋根の形が単純（一文字型）であるので、風呂敷型のものを準備し、屋根の上で接続する手間を省いた。また、米国ではネオプレンびきナイロン・ビニールびきナイロン・ゴムびきナイロンの天幕が常用され、これを2年間継続使用するようであるが、わが国ではまだ燻蒸の施工件数が少ないので、前記ポリエチレンのフィ

1) 今回使用した天幕は、日本ユニカー¹⁾製で、みやこ化学²⁾より購入したものである。



写真2：天幕の裾押えにすため、ポリエチレン製チューブに水を注入しているところ

ルームを使用し、使い棄てにすることとした。

(5) 天幕の裾押え：ガス漏れを防ぐために、天幕の裾の上にポリエチレン製のチューブ(径15cm)に水を満して(写真2参照)、ぎっしりと列べた。このように水を使用するか、砂袋にするかは、それぞれの現場で入手しやすいものを使用すればよいのであるが、数が多いので、遠方で作ってから運搬することは不便である。米国では最近 Snake(蛇)と呼ぶ厚手の合成樹脂製チューブを使用しているようであるが、今回は天幕と同様に、使い棄てにするほうが簡便であるとの見解から、ポリエチレン製チューブを適当な長さで切断し、水を注入して、口を紐で縛った。

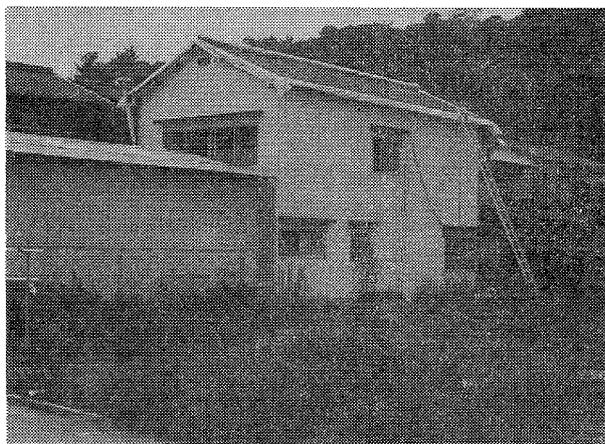


写真3：屋根の棟や軒などに Air cap の Padding を取りつけたところ

(6) 屋根その他家屋の突出部分の Padding：屋根その他家屋の突出している角で天幕が破れるおそれがあるので、これを予め防止するために、屋根の棟・軒その他天幕の破れるおそれのある個所に、最近パッキングなどによく使用される気室の列んだ Air cap と称するポリエチレン製 Padding を貼りつけた。突出した角だけでよいようであるが、屋根の棟などには瓦を留めるために、軒には樋を留めるために使用された針金の先端が飛び出しているもので、写真3にみられるように、棟・軒の稜線全部を被うように Padding を取りつけた。

(7) 燻蒸用ガス：今回はメチルブロマイド(臭化メチル)を使用した。薬量は天幕内の容積を算出して、 40 g/m^3 を目標とするため、25kg入りボンベ(写真4参照)より全量を導入することにしたが、本格的な導入に先立って、ガス漏れ検査用や、燻蒸中の事故(風などによる天幕破れ)の場合の補充用に500g入り耐圧缶を20個別に用意した。米国ではメチルブロマイド時代から、まさにバイケン(弗化サルフリル)時代に移る傾向であるが、わが国にはいまだバイケンが輸入されていないので、今回はやはり使い慣れたメチルブロマイドを使用した。

(8) 作業経過：8月10日午前9時30分より作業を開始し、まず最初に屋根に Padding 取り付けを行なった。天幕が短冊型の場合には、電灯引込線などは、ここで天幕をつなぐように工夫すれ

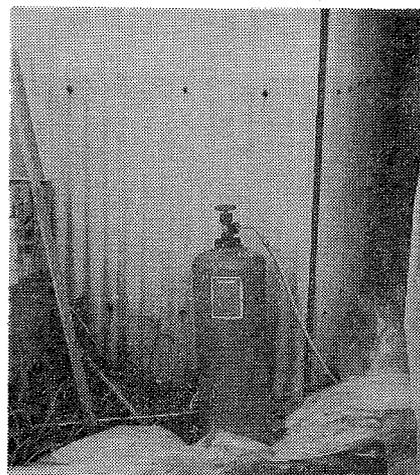


写真4：燻蒸に使用したメチプロ25kg入りボンベ

ば、こと足りるのであるが、今回は風呂敷型であるので、電気工事の専門工に依頼して、引き込み線を取りはずしてもらい、燻蒸終了後ただちに連絡して接続してもらうように取りはからった。

午後からは天幕を屋根の上に持ち上げ、家屋全体を完全に被覆するように天幕掛けの作業を行なった。何分にも超大型の風呂敷であるので、広げるに従い、中心部がどこにあるやら、さっぱり判らなくなり、ひどく不便を感じ、完全被覆にかなり手間取った。天幕の中心点や縦横の方向を示す標識をつける必要性を痛感した。ようやく家屋の周囲に垂れ下がった天幕の裾が十分押えられる程度に天幕の位置を調整し、さらに風で天幕が飛ばされないように、4本の合成樹脂製の綱を屋根越しに掛け、その上に家屋の側面に2本の綱をまわし、風でふくらむことを防いだ。当日は風がほとんどなかったのですが、この程度ですませたが、風のある日には、もっと数多くの綱を掛けるか、綱（漁網の古いものでもよい）をかけるほうがよいと考えた。

つぎに、台所・便所・風呂場・洗面所などの排水孔の閉塞、煙突・排気扇の点検、屋外や隣家のマンホールの被覆などを慎重に行なった。ガス漏れをなくすることが、燻蒸成功の鍵であるから、とくに慎重を期したしだいであるが、それと同時に、最も懸念されることは、密接している隣家

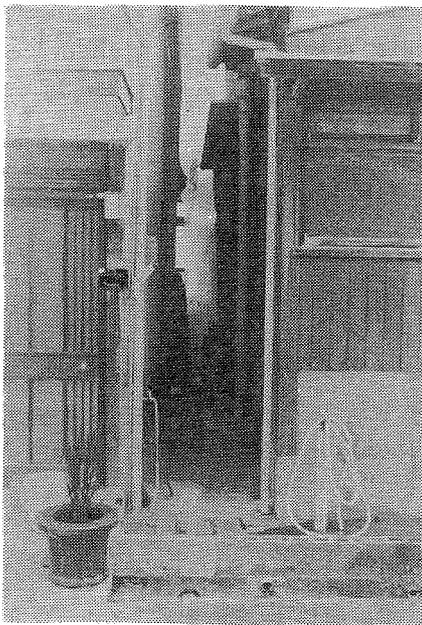


写真5：密接している隣家



写真6：Halide leak lamp でガス漏れを探知しているところ

(写真5参照)への漏れたガスの流入であった。燻蒸家屋は、正面玄関に向かって左側は、広い空地になっているので、この方面はまったく心配はなかったが、右側の隣家との距離がわずか1m足らずであったから、燻蒸終了の最後まで、隣家へのガス流入の危険が絶えず気にかかり、しばしばメチプロのガス探知機 Halide leak lamp (写真6参照)を使用し、Bailstein 法による焰色反応を調べ、ガス漏れに注意した。結局隣家へのガスの流入は、まったく認められなかったのですが、このような密集家屋の地域でも、慎重にガス漏れを防げば、なんの危険もなく、燻蒸できるとの結論を得た。

また、家屋内のガスの循環をはかるために、1階中央居間の床の上に送風装置を設置し、ここからポリエチレンのチューブ(径15cm)を通じて2階の天井裏にガスを送り、1・2階全体を通じてガスの速かな循環を試みた。同時に天井板の一部、床板の一部を取りはずし、家屋全体にガスが十分拡散するようにした。

なお、ガスを導入すると、いっさいの生物が死滅するので、飼育愛玩中の動物はもちろんのことであるが、植物も枯死するから鉢植は搬出し、玄関横の植込みの植物もできるだけ移植をはかったが、夏季移植の不能な草花は、ついにそのまま放置した。

つぎに、燻蒸効果を実際に生物テストするために、硝子瓶に玄米とともにコクゾウ成虫約50匹ずつを入れ、中心部に硝子管(内径4mm)を通したゴム栓を施し、供試虫は脱出しないが、燻蒸ガス

は硝子管を通じて瓶中に侵透するようにしたテストサンプルを設置した。燻蒸の成否を確認するために、このことは最も重要な措置であり、コクゾウ成虫を供試虫としたのは、木竹材害虫のシロアリ・ヒラタキクイムシ・チビタケナガシンクイなどよりはるかに燻蒸ガスに対し耐性を有するからである。また、細い硝子管を用いたのは、木竹材中に潜入している害虫の生息個所まで燻蒸ガスが浸透して害虫を完全に殺滅することができたかどうかを比較確認するために、硝子管を通した硝子瓶のなかのコクゾウが完全に死滅した場合は、木竹材中に潜入している害虫もだいたい同様に死滅しているという森教授の実験に従ったものである。テストサンプルの設置場所と個数は、もとより多いほうがよいが、今回は1階においては玄関口・裏口および家屋の両横などに計5個、2階においては中央部に距離を離して2個、総計7個とし、硝子瓶の首に紐をつけて、天幕外からも容易に引き出せるようにした。

最後に家屋外に全員退去して天幕の裾押えを行なった(写真7参照)。前述のとおり、ポリエチレンのチューブを適当な長さに切断して、これに水を注入し、口を紐で縛って、天幕の全周囲を押えたのである。

また、ガスを導入するに先立って、天幕の破れを点検するために、発煙筒を燃焼して煙漏れを調べ、天幕に生じた破れ孔には、すべて粘着テープを貼りつけた。煙突の場所の天幕の破れが大きかったので、煙突の先端部を天幕より突出させ、煙突の周囲に天幕を縛りつけてガス漏れのないよう

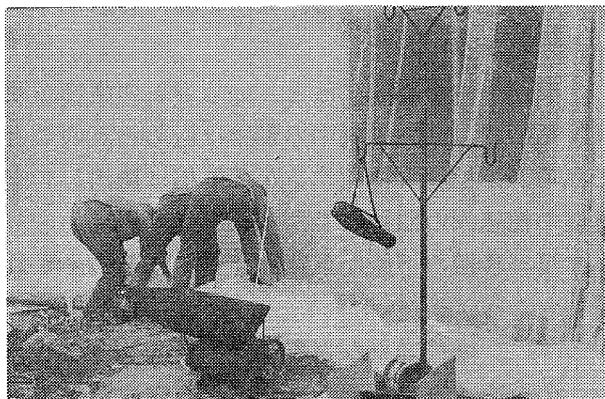


写真7：天幕の裾押えの現場

に固定し、煙突の先端を別のポリエチレンフィルムで被覆した。

これでガス導入の準備を完了したわけであるが、さらに万全を期して、25kgボンベのガスを本格的に導入する前に、500g入耐圧缶のメチプロを2缶(1kg)天幕の裾からオフナーにより天幕中に導入して、天幕の下部からのガス漏れを慎重に調べたところ、Halide leak lampの焰色反応がかなり強く(濃緑色ppm100, 0.38mg/l程度)現われた場所があったので、この日はこれで中止し、明朝天幕の裾押えを再検討することとした。

8月11日早朝より天幕の裾押えを強化した。すなわち、水漏れのあったポリエチレンチューブを取り替えたり、ガス漏れの多い場所では天幕の裾に土を載せたり、埋め込んだりした。12時30分さらに500g缶入り2個のメチプロを導入してガス漏れを調べ、ほとんどガス漏れのないことを確認した上、天幕外に設置した25kgボンベよりメチプロ全量を導入した。すなわち、ボンベに合成樹脂製の管を接続し、2階天井裏までこの管を延して、ここに予め用意したダンボール箱のなかに噴射口を固定した。噴射口を固定したのは、ガスを噴射するに当たり、噴射口が激しく動揺するので、これを防ぐためである。また、ダンボール中に噴射したのは、家屋用材に直接メチプロを噴射すると、液の飛び散った場所に見苦しい汚点を残すおそれがあるからである。

ガス漏れの点検は、前記のHalide leak lampを使用したが、ガス濃度の測定には、理研18型ガス検定器を用いた。ガス導入後の各時刻における

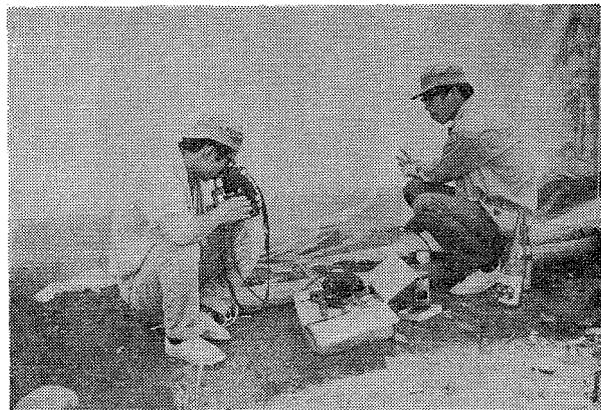


写真8：理研18型ガス検定器によるガス濃度の測定
(Ground levelにおいて)

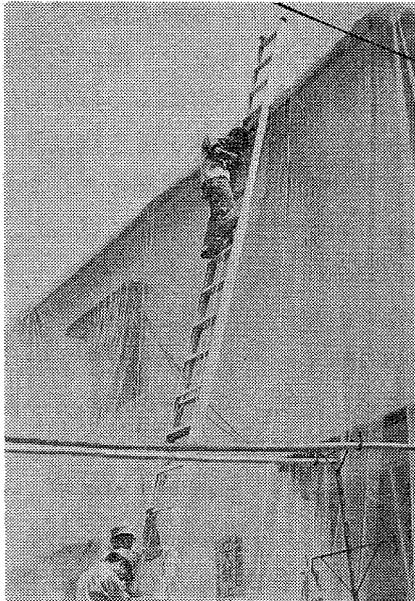


写真9：同前（屋根の位置において）

ガス濃度を第2表に示す。測定的位置は Ground level (GL), 1階天井の位置, 屋根の位置の3か所とし（写真8, 9参照）, 測定法は森教授のつねに行なっている方法で, 18型ガス検定器のゴム管の先端に大型注射針を取りつけ, この針の先を天幕に直接差し込んでガスを吸引し, ガス濃度を読みとった。また, 昼夜を通じ監視人をおき, 人畜への危険を防止するとともに, 約1時間おきにガス濃度を測定し, ガス漏れの発見に努めた。燻蒸中危険につき「立入禁止」の立札（写真10参照）を立てるだけでは不十分であると考えたので, 監視人をおいたのであるが, このために夜間もガス漏れの検査やガス濃度の測定ができた。

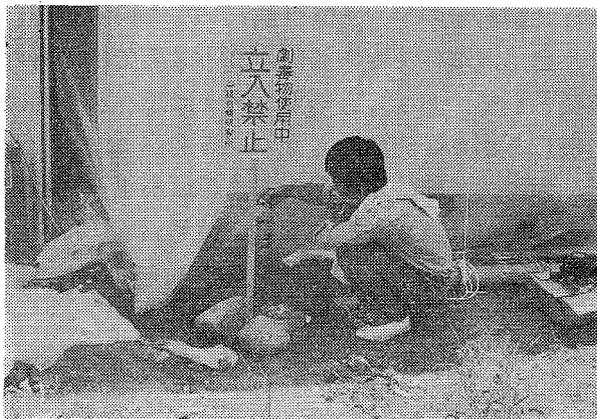


写真10：燻蒸中危険につき「立入禁止」の立札を立てる

第2表—ガス導入後の各時刻におけるガス濃度 (g/m³)

月日	時刻	GL	1階天井	屋根	備考
8. 11	12. 30				メチプロ25kg導入
	13. 00	50	40	40	
	15. 00	38	40	37	
	16. 00	40	40	38	
	17. 00	38	38	37	
	18. 30	38	37	37	
	20. 00	35	35	37	
	21. 00	34	33	35	
	22. 00	32	32	32	
	23. 00	30	30	30	
	24. 00	29	29	29	
8. 12	1. 00	27	27	27	
	2. 00	27	27	27	
	3. 00	23	23	23	天幕の裾押えのポリエチレンチューブより水漏れを発見, 急遽取り替える。
	4. 00	23	23	23	
	5. 00	23	23	23	
	6. 00	23	23	23	
	7. 00	23	23	23	
	8. 00	23	23	23	
	9. 00	22	22	22	
	10. 00	20	20	15	風のため屋根の上で天幕の破れを発見, 応急修理し, メチプロ5kg補充導入する
	10. 30				
	11. 00	28	25	25	
	12. 00	23	25	23	
	13. 00	22	22	22	
	14. 05	21	21	22	13時55分, 家屋内ガス濃度は, GL26, 1階天井23, 屋根裏27
	15. 00	20	20	21	

第2表備考欄に記載のように, 8月12日午前2時, 天幕の裾押えのポリエチレンチューブよりの水漏れを発見し, 急遽新しいものと取り替えを行なったが, 使い棄てのためチューブが薄く, その上長さが長過ぎると, 水圧に耐えにくいことを痛感した。また, 午前10時ガス濃度の低下に気づき, 天幕を調べたところ, 屋根の部分に風による破れを発見, 応急修理を施し, さらに10時30分メチプロ5kgを補充導入した。このため第2表に示すようなガス濃度の上昇が測定された。13時55分写真11にみられるように, 防毒マスクを着装し, 家屋内にはいり, 室内のガス濃度を測定した。第2表の備考欄にあるとおりであり, また, テストサンプル中の供試虫(コクゾウ成虫)は, すでに

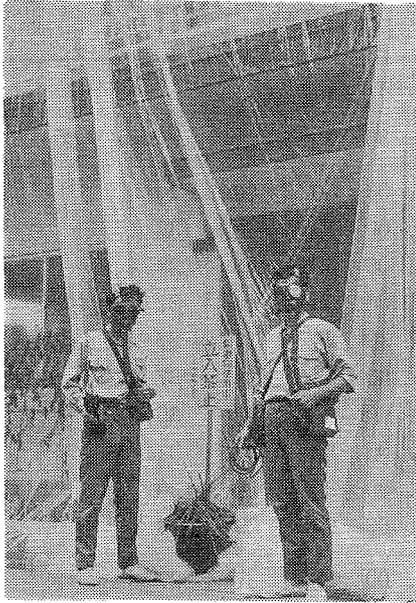


写真11：防毒マスクを着装し、天幕内にはいるところ

全部死滅していることを確認したので、ガス燻蒸を15時で打ち切ることにした。途中でガスの補充導入を行なったが、結局燻蒸時間は、26時間30分であった。その間ガス濃度がGL・1階天井・屋根の上中下3層で比較的一様であったのは、高層の屋根裏でガスを噴射し、さらにガスの循環装置を設置したことによると考える。

(9) 今回の燻蒸作業を顧みて：今回の燻蒸作業は、森教授の指導のもとに準備を進め、当日もその指示によって作業を実施したので、一般的にはまことに順調にはかどったのであるが、今後の燻蒸に際し、さらに参考になる点を思いつくままに上げてみると、

(i) 天幕の標識：屋根の上で天幕を広げてみると、大変な大風呂敷であり、その中心や縦横の正しい方向がまったく判からなくなり、天幕を掛けるのにかなり手間取ったので、次回には中心に標識をつけるとか、さらに中心点を通して縦横に十字の標識を天幕の上に端のほうまで画しておくとか、できれば屋根の長さを予め正しく測定し、屋根の棟や軒に当たる天幕の部分に線を書いておいて、屋根のそれぞれの部分にこの線を書き込めればよいように用意しておく、はなはだ便利であると気づいた。

(ii) 天幕全体の縛り：今回は微風であったのでまったく助かったが、もう少し風が吹くと、天幕が吹き飛ばされたり、一方にふくらんで位置がずれたりするので、天幕全体を縛る綱は多いほどよく、場合によっては、古い漁網のようなものを上からかぶせておくのもよいように思った。米国では Water Snake で屋根の上を押えている。

(iii) 天幕の裾押え：今回は使い棄ての見地から、径15cmの薄手のポリエチレンチューブに水を注入して使用したが、チューブがあまり長いと水圧が強くなり、水漏れしやすくなるから、あまり長くないほうがよく、面倒なためにチューブを長くすると、かえって手間取る結果になる。米国流にもっと丈夫な厚手のチューブを使用することも考えられるが、これでは使い棄てにすることはできなくなる。また、天幕の裾に接する地面が凸凹であると、ガス漏れが多くなるので、地面を予めなるべく平坦にならしておく必要がある。なお、この部分の土壌を掘って天幕の裾にかけることがあるが、土壌を掘り返すことによって土壌に間隙を生じ、かえってガス漏れが多くなることもあるので、天幕の裾に土壌をかける場合は、少し離れたところの土壌をかけることがたいせつである。ガス漏れが多い場所では、その場の状況に応じ、天幕の裾を土壌中に埋め込むことも一つの手段であると考えた。

(iv) 燻蒸作業の人員：屋根に Padding を取りつけたり、重い天幕を屋根の上に持ち上げたり、天幕をかけてさらに綱で縛ったり、裾押えをしたり、排水孔の完全閉鎖を行なったり、その他種々の作業があるので、あまり慣れていない現状からいうと、燻蒸作業の人員は、2・3名では1日の作業として、ちょっと無理なように思う。今回は山根しるあり研究所のメンバー5名が参加したが、米国では熟練者2名1組、わずか1～2時間の準備でガス導入を行なうと聞いている。

(山根しるあり研究所代表者)

昭和46年度「しろあり防除施工士」資格検定試験 結果の講評

森 八 郎

昭和46年度「しろあり防除施工士」資格検定試験は、昭和46年3月26日（金）午前10～12時、東京地区（東京都千代田区永田町1-8-1 社会文化会館）、近畿地区（京都府宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所）、九州地区（福岡市天神1丁目1-5 福岡県母子会館）、沖縄地区（那覇市）の4か所において、例年どおり、同時に実施され、それぞれの地区、88名、53名、33名、10名、合計184名の受験者があった。（申込者195名、欠席者11名、昨年の申込数より69名増加。）

試験問題は、「しろあり防除施工士」の常識として、つね日頃より十分心得ていてもらいたいと考えられる程度のもので、従来どおり、当協会発行の「しろあり防除ダイジェスト」から大部分出題したものであるが、ダイジェスト全部を精読暗記することはかなり困難であるので、その要約である協会機関誌「しろあり」No. 5、「しろあり防除施工士受験テキスト」を十分理解しておけば、合格点がとれる程度のものでした。

問題1は、「シロアリの昆虫学的知識」についてのもので、最高94点、最低7点、平均64点。問題2は、「シロアリの防除剤に関する知識」についてのもので、最高88点、最低0点、平均39点。問題3は、「シロアリ防除処理施工に関する知識」についてのもので、最高94点、

最低25点、平均70点。問題4は、「シロアリ防除処理仕様書に関する知識」についてのもので、最高95点、最低20点、平均57点。問題5は、「建築に関する知識」についてのもので、最高100点、最低10点、平均72点。すなわち、平均点からいえば、問題2がきわめて悪く、問題5が最もよかったことになる。各問題それぞれ100点満点で、合計500点満点となるが、合計の最高点は452点、最低点は62点、平均点が304点であった。平均点が6割を越したのであるから、受験者の勉学の成果に対し、心から敬意を表するしだいである。資格検定委員会で審議の結果、合格者150名、不合格者45名（うち欠席者11名）と決定した。今年は受験者数も例年よりはるかに多かったが、合格者数も昨年度より40名も増加し、「しろあり防除施工士」の資格の重要性が一般に広く認識されてきたと考えられる。現在で防除士総数754名となったわけで、協会の繁栄を祝すとともに、試験に見事合格された方々にお慶びの詞を申し上げます。他方残念ながら、不合格になられた方々には、もう一度テキストを反復熟読され、また実地経験もつまれ、日頃の常識だけでも十分合格されるように努力をかさね、捲土重来、来年こそはの意気込みで、再受験されることを切望してやまない。

（しろあり防除施工士資格検定試験委員会委員長）

昭和46年度「しろあり防除施工士」資格検定試験問題

I シロアリに関する知識

問1 夏の夜、電灯に羽蟻が集まってきたが、これがシロアリの羽蟻であるのか、普通のアリの羽蟻であるのか、どうして区別したらよいか。

両者の簡単な比較図を画いて説明しなさい。

問2 つぎの文の（ ）内の語句のうち、正しいと思うものを○で囲みなさい。

シロアリは昆虫分類学上（膜翅目・等翅目）に属し、（アリ・ハチ・ゴギブリ）に近縁な昆虫で、（完全・不完全）変態をする。かれらは（雌性・雌雄両性）中心の家族生活を営んでおり、生殖階級の後継者たる副生殖虫が（いる・いない）。

問3 つぎに、シロアリの群飛から幼虫出現までの経過が記述された文があるが、誤りと思うものがあれば、×をつけなさい。

- 1) シロアリの群飛は、若い雌雄の集団新婚旅行であるが、翅をもっているため、数100mも飛行することがある。
- 2) 多くのシロアリは、夜間走光性があるため、電灯に集まるが、この事実は雌雄がカップルになる機会を多くしている。
- 3) 群飛を終えて地上に下りた雌雄は、切離線から翅を落し、雄が雌を誘導して、木材の割れ目やすき間にはいつて巣づくりをする。
- 4) それから2・3週間経過すると、産卵が始まる。最初の

卵数は、イエシロアリの場合、普通20個程度であるが、ヤマトシロアリの場合は、はるかに少ない。

- 5) イエシロアリの卵は、普通2・3週間で孵化する。最初の幼虫は、ほとんどが職蟻になるが、1・2匹の兵蟻が出現することもある。

問4 つぎに、イエシロアリとヤマトシロアリを比較した文があるが、()のなかの語句のうち、正しいと思うものを○で囲みなさい。

- 1) イエシロアリの有翅虫は、ヤマトシロアリの有翅虫に比べて(大きく・小さく)、(黄褐色・黒褐色)をしている。
- 2) イエシロアリは、ヤマトシロアリに比べて、乾燥に(強い・弱い)。
- 3) イエシロアリは、ヤマトシロアリに比べて、加害速度が(速く・遅く)、被害は(激烈・軽微)である。

問5 シロアリは、木材の種類によって嗜好性がかなり違うので、床下部材には、なるべく耐蟻性のある木材を使用することが望ましいが、つぎの材種を耐蟻性の順に番号をつけなさい。

アピトン マツ ヒノキ イヌマキ

問6 つぎの文を読んで、誤っているものに、×をつけなさい。

- 1) コンクリートブロック建物や鉄筋コンクリート建物でもシロアリに対して絶対安全とはいえない。
- 2) ヤマトシロアリも、イエシロアリ同様、消化管中に原生動物が共生している。
- 3) シロアリのコロニー中で、最も個体数の多いのは職蟻である。
- 4) 腐朽とシロアリ被害が同じ場所におこることは少ない。
- 5) シロアリは鉛管やコンクリート、ビニールパイプなどに孔をあけることがある。

問7 つぎに、シロアリ被害の発生経過と思われる文があるが、明かに誤っていると思うものがあれば、×をつけなさい。

- 1) 数kmも離れた海岸のマツの大木の根の下に営巣していると思われるイエシロアリの大群が、蟻道を構築して、家屋に侵入してきているようである。
- 2) 高さ30cmもある基礎コンクリートをはい上がり、風呂場の土台を最初に食害したようである。
- 3) 風呂場の壁のなかに分巣をつくっているようで、ここからも有翅虫が群飛したとみえて、窓の金網の内側に、死んだ羽蟻が多数ひっかかっている。
- 4) 隣接する便所の土台の一部にも被害がみられるが、他の土台は無事であるので、便所の柱を登って、天井裏の小屋組にまで被害を及ぼしたものと思われる。
- 5) 便所や風呂場の屋根の稜線が波をうっているが、これは土台が食害されて、柱が下がったためであると考える。

問8 シロアリに関するつぎの文を読んで、正しいと思うものに、○をつけなさい。

- 1) シロアリの巣の探知は、シロアリがすべて巣にもどっている冬季に行なうほうが効果的である。
- 2) シロアリ探知機を使用すれば、シロアリの活動がにぶつ

ている冬季でも、巣や所在を探知することができる。

- 3) 木材の表面に虫孔が穿たれ、木粉が排出されている場合は、まずシロアリ被害とみてよい。
- 4) シロアリの有翅虫が多数飛びたっても、必ずしもその付近に巣があるとは限らない。
- 5) 夜間電灯にシロアリの有翅虫が多数飛来したが、これはヤマトシロアリでないと判定してよい。

問9 静岡県下である家屋のシロアリ調査を行なったところ、つぎの事実が判明した。これを読んで、下の問いに答えなさい。

- 1) 家屋の床下部材の被害が、とくにひどい。
- 2) 風呂場の窓の金網に多数の羽蟻の翅がひっかかっている。
- 3) シロアリ探知機を使用して、風呂場のタイルの下に探知棒をさし込んでみると、非常に大きいシロアリの活動音が聞える。
- 4) 被害をうけているように思われる座敷の柱を、ハンマーでたたいてみると、空洞音が聞かれる。
- 5) この柱をレントゲン写真撮影してみると、フィルムに網状構造の暗影が一部認められる。

[問い] 1. シロアリの種類は何か。()

2. 女王・王がいると思われる場所は何所か。

()

問10 北九州にある木造家屋で、大掃除の際、コンクリート基礎の内側に土砂による道筋(トンネル)を発見した。しかし、これまで有翅虫の飛来は、まったく認められていない。この場合、下の文を読んで、最も正しいと思うものに、○をつけなさい。

- 1) 蟻道をつくるのは、シロアリだけなので、その建物にはシロアリが侵入していると考えて間違いはない。
- 2) シロアリの蟻道か、普通のアリのものか、はっきり断定できないが、まずシロアリの蟻道とみなして、十分に調べる必要がある。
- 3) コンクリート基礎の内側の暗い部分につくられていることから、確実にシロアリのものと断定できる。
- 4) 有翅虫の飛来がないので、アリの蟻道とみなしてよい。
- 5) いずれとも断定できないが、大したことはないので、2・3年様子をみた上で、防蟻対策を考えてみる。
- 6) 現在のところ、シロアリが侵入している可能性がないので、そのまま放置しておいてよい。

II 防除剤に関する知識

問1 砒素はシロアリその他の木材害虫に有効であるが、温血動物に極めて有毒で、砒素中毒症状をおこさせるおそれがある。薬局方では1回および1日の極量が決められている。その量を下記の数量からえらび、○をつけなさい。

1回の極量: 0.06g 0.01g 0.005g 0.001g

1日の極量: 0.1g 0.015g 0.01g 0.005g

問2 土壌処理剤として、乳剤を調製したいが、つぎの薬剤の

うち、必要なものに○をつけなさい。

石油系溶媒 フッ化ナトリウム ドリン剤
界面活性剤 D-D 硼砂

問3 クレオソート油は、石炭を乾留してえられるコールター
ルを蒸留してつくられるが、低温乾留（低乾クレオソート
油）の場合の乾留温度は、つぎのうち、どれが正しいか。
○をつけなさい。

250～300℃ 300～500℃ 600～700℃ 800℃以上

問4 つぎの化合物の略号または薬剤名を記入しなさい。

- (1) ヘキサクロルシクロヘキサン (1)
(2) p,p'-ジクロルジフェニルトリクロルエタン (2)
(3) ペンタクロルフェノール・ナトリウム塩 (3)

問5 つぎの事項について、正しいものに○をつけなさい。

- (1) クロルデン・γ-BHCは水にとける。
(2) 亜硫酸ナトリウムは、呼吸毒作用がある。
(3) 臭化メチルは、塩素化合物である。
(4) DDTは油にとける。

問6 建築用土台プレザープ木材に処理薬剤として用いるCC
Aの成分表を下に示すが、空白個所に化合物名を記入しな
さい。

成 分	1 号	2 号
() %	50 以上	25 ～ 29
() %	30 以上	14 ～ 17
() %	10 以上	40 ～ 45

問7 立木などの土壌処理に使用する薬剤には、つぎの薬剤中
どれを使用すべきであるか。正しいものに○をつけなさい。

PCP乳剤 亜硫酸ナトリウム クロルデン乳剤
フッ化ナトリウム アルドリン乳剤

問8 PCPについてのつぎの事項のうち、誤りのある2つに
×をつけなさい。

- (1) PCPとは、ペンタクロルフェノールの略称である。
(2) PCPは、予防剤としてと同様、駆除剤にも多く使用さ
れる。
(3) PCPを石油系溶媒で5%以上の高濃度に溶解すること
はむずかしい。
(4) PCPは、クレオソート油に20%は容易に溶解する。
(5) PCPは、水に5%ぐらい溶解する。

問9 つぎの処理に用いる薬剤を、□に番号で記入しなさい。

1. 水溶性薬剤 □雨水がかかったり、吸水性のある部分
の処理
2. 乳 剤 □土壌処理
3. 油状薬剤 □塗装を必要とする部分の処理
4. 油溶性薬剤 □地下ケーブル処理
5. 粉 剤 □温冷浴法による処理

問10 燻煙剤と煙霧剤との区別を明確に説明しなさい。

III 施工に関する知識

問1 木材に関する文が、つぎに5つある。このうち、誤りの
もの2つに、×をつけなさい。

- (1) 木材は小さな細胞の集まりである。
(2) 木材の年輪は1年に1つずつできたものである。
(3) 世界中のどの地域の木材でも、必ず年輪がある。
(4) 木材には針葉樹と広葉樹がある。
(5) 乾燥した木材の比重は、すべて0.5より小さい。

問2 木材の基礎的性質をつぎに示す。誤りのもの2つに、×
をつけなさい。

- (1) 木材は乾燥すると、強度は強くなる。
(2) 木材は吸水しても、寸法は変化しない。
(3) 木材は乾燥すると、収縮する。
(4) 木材は含水率が増すと、膨張する。
(5) 木材は乾燥すると、繊維方向が最も大きく収縮する。

問3 木材の処理は、拡散法を除いて、十分に乾燥しているも
のに対して行なわれなければならない。その理由について、
つぎのうちから、正しいもの2つに、○をつけなさい。

- (1) 薬剤を多量に吸収させる。
(2) 木材中に吸収させた薬剤の定着化を促進させる。
(3) 処理後に新しいひわれの発生をさける。
(4) 木材処理の能率を向上させる。
(5) 薬剤の変質を少なくさせる。

問4 防除施工に際して、薬剤の取扱いに関する注意をつぎに
記す。誤りのもの2つに、×をつけなさい。

- (1) 薬剤運搬に際しては、ガラス容器はさけ、破損しにくい
容器を用いる。
(2) 施工が2日にわたる場合には、施工建物の外に薬剤を置
いて帰ってもさしつかえない。
(3) 施工者は、帽子・マスク・手袋などを着用して、皮膚に
直接薬剤がふれないように注意する。
(4) 施工中または終了後、身体に異常を感じたときには、す
ぐ家に帰って、そのまま寝ればよい。
(5) 施工終了後、身体をよく洗い、その日の下着はとりかえ
て、アルコール飲料をのむのはさけ、早めにやすむ。

問5 木材処理法決定にあたって、検討すべき条件をつぎに示
す。 unnecessaryなものに、×をつけなさい。

- (1) 現場処理の可否
(2) 薬剤の種類
(3) 耐用年数
(4) 敷地の大きさ
(5) 経済性

問6 木造建物の防除処理を行なうにあたって、 unnecessary事項
はどれか。×をつけなさい。

- (1) シロアリの種類
(2) 耐用年数
(3) 建坪
(4) 屋根の材料
(5) 被害調査結果
(6) 植木の樹種

問7 塗布法において、各項ごとに2つのうち、どちらが一層多くの薬液を吸収するか。多いほうに、○をつけなさい。

- (1) 滑面 粗面
- (2) 木口面 板目面
- (3) 赤味 白太
- (4) 乾燥材 生材
- (5) 水平面 傾斜面

問8 10cm角で、1mの長さの角材に、400g/m²の薬液吸収量をあたえた。容積あたりに換算すると、いくらになるか。つぎのうちから、それに近い数字のものに、○をつけなさい。

13kg/m³ 15kg/m³ 17kg/m³ 19kg/m³ 21kg/m³

問9 つぎの文に塗布と吹付けとの2つの処理法が比較してある。()のなかに、塗布または吹付けという字句を入れなさい。

- (1) ()より()のほうが、処理面の範囲を自由に限定できる。
- (2) ()より()のほうが、処理能率はよい。
- (3) ()より()のほうが、薬剤を浪費することが少ない。
- (4) ()は駆除処理に使えるが、()は使えない。
- (5) ()は狭いすき間の奥まで処理しやすいが、()は処理しにくい。

問10 薬液の吸収量に影響をあたえるものがいくつかある。つぎのうち、関係のあるものに、すべて○をつけなさい。

薬液の粘度 薬液の沸点 木材含水率 木材強度
薬液の表面張力 木材の表面の粗滑 木材断面の種類
薬液の臭・色 薬剤の効力

IV 仕様書に関する知識

問1 モルタル塗建物には、以下のような理由で、シロアリ被害が大きい。誤りに×をつけなさい。

- 1. 板張りに比し、壁内の水分の乾燥速度が遅い。
- 2. 壁体内部の被害が発見しにくい。
- 3. モルタル壁内部は、外界の急激な温度変化をうけ易い。
- 4. 板張りに比し、夏季に壁内温度が高くなる。
- 5. 壁体内には、屋根面ならびに壁面亀裂部より雨水が浸透する。

問2 シロアリ予防対策を講ずる上で、不必要な情報はどれか。×をつけなさい。

- 1. 予防剤の効力持続期間
- 2. 建物の床高
- 3. 期待する建物の寿命
- 4. 建物の延床面積
- 5. 整地面積

問3 つぎの記述で、誤りのものに×をつけなさい。

- 1. 建物の通風採光をはかるのは、シロアリが暗所を好み、水分の多いところに繁殖する習性に反した構造とするためである。

- 2. 部材の木口面、われ目をとくに入念に処理するのは、この部分よりの薬剤の浸透がよいためである。
- 3. 大谷石のような軟石質の基礎を使用しないのは、強さが弱く、土台の含水率が高くなるためである。
- 4. 窓台と柱の接合部の雨仕舞不良は、柱脚・土台などに被害をおよぼす原因となる。
- 5. 土中に先端を埋めこむ門柱は、土中に埋めこまれる部分のみ薬剤処理する。

問4 建物の北側に被害が最も多い理由としては、不適当なものとはどれか。×をつけなさい。

- 1. 一度湿めると、乾燥しにくい。
- 2. 温度が低い。
- 3. 日あたりが悪い。
- 4. 浴室・台所など、水を使う部屋が多く集まっている。
- 5. 他の部分より床下湿気が多い。

問5 協会というシロアリ予防剤は、つぎの性能を備えていないければならない。正しいものは、どれか。○をつけなさい。

- 1. 除蟻効力のみ備えている。
- 2. 防腐・防蟻効力を備えている。
- 3. 防腐・防蟻効力のほかに、鉄腐食性も検討されている。
- 4. 防腐・防蟻効力のほかに、鉄腐食性、着炎性、吸湿性の面まで検討されている。
- 5. 防腐・防蟻効力のほかに、鉄腐食性、着炎性、吸湿性、塗装性なども検討されている。

問6 協会仕様書による1回の塗布量の正しいものは、つぎのうち、どれか。正しいものに○をつけなさい。

- 1. 水溶性薬剤 200ml/m²、油性薬剤 100ml/m²
- 2. // 200ml/m²、 // 150ml/m²
- 3. // 100ml/m²、 // 200ml/m²
- 4. // 150ml/m²、 // 200ml/m²
- 5. // 200ml/m²、 // 200ml/m²

問7 シロアリの駆除方法の決定に関する記述で、誤りに×をつけなさい。

- 1. 被害状況および被害程度を調査の上、駆除方法を決定する。
- 2. 被害の程度により、補修を行なうかどうかを決定する。
- 3. 建物の経過年数により、駆除方法を決定する。
- 4. 薬剤の種類によって、駆除方法を決定する。
- 5. 部材によって、防腐措置をも考慮して、駆除方法を決定する。

問8 建物の構造耐力上主要な部材は、つぎのうち、どれか。○をつけなさい。

筋かい 大引 床束 土台 間柱
根太 小屋束 胴差し 窓台 火打材

問9 つぎの記述で、誤りあるものに、×をつけなさい。

- 1. 建築基準法施行令第37条は、構造耐力上主要な部分に使用する木材について、防蟻措置を規定している。
- 2. 同第42条では、土台を設けることを規定している。
- 3. 同第22条は、最下階の居室の床の防湿規定を示している。

4. 同第41条では、構造耐力上、主要な部分に使用する木材の品質について規定している。

5. 同第49条では、外壁内部の防腐措置を規定している。

問10 シロアリによる各部材の被害原因に関する記述で、誤りあるものに、×をつけなさい。

1. 土台は常時の含水率が高く、とくに基礎高が低く、20cm以下のときは、被害も著しくなる。

2. モルタル壁内部の木材で、被害の多いのは、北側で、これについて西側、東側、南側の順に被害が少なくなるのが原則である。

3. 柱と窓台との接合部は、雨仕舞が不良だと、被害をうける。

4. 樹種の相違によって被害程度に差がみられるが、ヤマトシロアリの場合には、比較的大きく現われる。

5. 給排水管に接する部材は、保温帯が巻いてなくても、破損しないかぎり、被害をうけることはない。

V 建築に関する知識

問1 瓦棒ぶきの主要な材料は、つぎのうち、どれか。○をつけなさい。

1. 日本瓦
2. 洋瓦
3. スレート
4. 鉄板

問2 木造建築物の床の高さを規定している法規は、つぎのうち、どれか。○をつけなさい。

1. 公営住宅法
2. 建築基準法
3. 住宅金融公庫法
4. 建築士法

問3 前問の床の高さの規定で、正しいのは、つぎのうち、どれか。○をつけなさい。

1. 60cm以上
2. 45cm以上
3. 30cm以上

問4 つぎの左側の工作与関係ある右側の材料を線で結びなさい。

実矧ぎ	土台
追掛大栓継ぎ	遣方杭
いすか切り	床板

問5 つぎの左側の傾斜材と関係する右側の構造部を線で結びなさい。

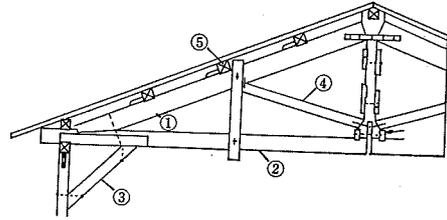
火打土台	小屋組
筋違	床組
合掌	軸組

問6 下図の真づか小屋組の各部の名称を、つぎのなかから選び、記号(イロハ……)を()のなかに記入しなさい。

イ. 敷げた ロ. もや ハ. 小屋方づえ
ニ. たる木 ホ. 合掌 ヘ. ろくばり

ト. 火打ばり チ. むな木 リ. ころび止め
ヌ. 方づえ

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()



問7 (1:2)調合のモルタルとは、つぎのうち、どれか。正しいものに○をつけなさい。

1. 水(1) セメント(2) 砂(適量)の割合
2. 水(1) セメント(適量)砂(2)の割合
3. 水(適量)セメント(1) 砂(2)の割合

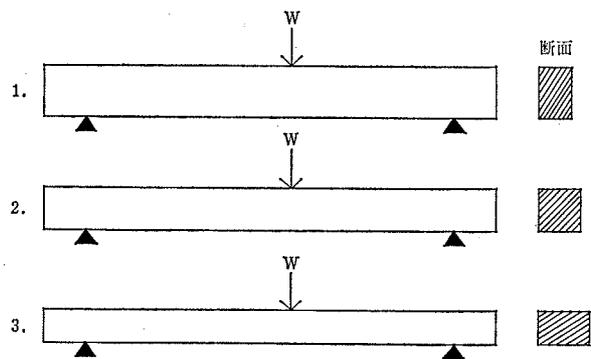
問8 アルミサッシに関するつぎの記述で、間違っているほうを消しなさい。

気密度が { 高いので, } 室内の { 考えなくてもよい。 }
 { 低いので, } 換気は, { 注意を要す。 }

アルミニウムは, { 侵されるので, }
酸・アルカリに { 侵されないので, }

薬品の取扱には, { 注意を要す。 }
 { 注意を要しない。 }

問9 下図のような断面積が同一であり、均質の梁(はり)の中央に重量物Wを載せる場合、最も安全なのは、つぎのうち、どれか。○をつけなさい。(重量物は転落しないものとする。)



昭和46年度「しろあり防除施工士」資格検定試験
合格者

北海道	伊藤良雄	和歌山	梶 勝二, 大林辰雄, 新舎芳則, 前田育男, 北村恒夫, 柏原章秀, 山田正明
宮 城	萩原圭三, 高玉昭彦	大 阪	小林道則, 田中良治, 細川哲郎, 小松三男, 田中照康, 諸井健次, 西村善郎
栃 木	小林幹男	兵 庫	西村勝男, 作田敏弘, 新田 章
群 馬	星野晃一, 三田正信	岡 山	森植金男
茨 城	唐田親男, 萩沼武雄	広 島	池田彰人, 小坂渥男, 八木 隆, 増本春夫, 中川暉史, 砂田 積, 松村 茂, 松尾通郎
千 葉	村上 勇, 坂卷千弘, 岡本竜夫, 南村昭朗	新 潟	熊倉 正, 和平真純, 原 隆雄, 友野 力
埼 玉	鷹鷲洋右, 川端悌治, 土田 繁, 増田健司	石 川	梅田国夫, 西田修身, 石田峰之, 村山 潔
東 京	末松 泉, 諏訪忠志, 松本千明, 徳永慶八, 吉田浩長, 森山嘉治, 安沢清次, 内山 保, 板垣昭馬, 矢沢秀明, 本間 茂, 松本 旦, 岩口達男, 川畑健一, 角野士朗, 吉元昌弘, 西村富佐多, 佐藤直彦, 戸張韶雄, 浦 等, 黒田義信, 山沢有一, 富松恒雄, 鳥塚幸蔵, 鬼海 茂, 垣内武範, 池田茂夫, 黒崎 浩, 長谷川正一, 加藤寛治, 松浦晃也, 滝口幸雄, 高橋義明	島 根	安食 裕
神奈川	久野澄男, 秋元 喬, 畠山 肇, 元木 喬, 福岡祥治, 三輪良蔵, 雨宮正義, 大沼君江, 倉沢三男, 川頭虎雄, 原田 昭	香 川	吉田重義, 喜多一成, 七星正臣, 喜田 実, 喜多俊雄
静 岡	鈴木貞夫, 青木憲一, 佐野 幹, 内田茂美,	愛 媛	西岡将元
愛 知	加藤文夫, 犬飼健一	高 知	津野治水
岐 阜	西川 博, 山村直美	福 岡	鶴村 毅, 高野 進, 古賀行雄, 結城 功, 吉見 悟, 伊規須智, 宮本和明, 草野 実, 竹野九州男, 島田義憲, 佐藤孝弘
滋 賀	村西光男	佐 賀	江崎隆徳, 江崎常子
京 都	森内健次, 清水英夫, 小倉迪夫, 藤原昌秀	長 崎	竹乃内和子, 平島正弘, 秋岡元視, 竹乃内幸雄
奈 良	浦上克造	大 分	都留成美
		宮 崎	押川清保, 児玉重文
		熊 本	小森田武, 戸木田文雄, 浜田征次, 日原情比古
		鹿児島	姥 清信, 柳谷時春, 坂本徳次
		沖 繩	津波古 稔, 川田繁三, 小嶺 稔, 儀間元久, 崎原政功, 池間正武, 仲村洋一

第14回通常総会開催報告

日時 昭和46年2月26日(金) 午前10時—午前12時
場所 虎の門共済会館

議 題

- 第1号議案 昭和45年度会務および事業実施報告について
- 第2号議案 昭和45年度収入支出決算の承認について
- 第3号議案 昭和46年度事業計画案の承認について
- 第4号議案 昭和46年度収入支出予算案の承認について
- 第5号議案 役員顧問および参与の選任について
- 第6号議案 会員の除名について
- 第7号議案 その他

議事経過

(事務局長) 只今より第14回通常総会を開催する旨を告げ、総会成立の定足数を次のとおり報告する。

本人出席 47名 委任状出席 381名 計 428名

総会構成会員数716名その2分の1、358名が定足数であるので総会は成立した。

(議長) 定款第21条により総会の議長をつとめる、各位の御協力を御願います。本日の議事録署名人に森八郎、神山幸弘両氏をお願いする旨をはかり承認を得る。

第1号議案 昭和45年度会務ならびに事業実施報告についてを提案事務局より説明を願います。

(事務局長) 資料朗読説明

(議長) 只今の説明について質疑ないかをはかる
(異議なしの声)

御異議ないので本案は承認されました。第2号議案昭和45年度収入支出決算の承認についてを提案いたします。

事務局より説明願います。

(事務局長) 資料朗読説明

(議長) 只今の説明について質疑ないかをはかる
(異議なしの声)

御異議ないものと認め本案は承認されました。続いて第3号議案昭和46年度事業計画案の承認についてを提案いたします。事務局より説明願います。

(事務局長) 資料朗読説明

(議長) 只今の説明について何か質疑ないかをはかる。

(池田) しろあり問題について官公庁の担当の話し合いの場を設けて欲しい。

(議長) 御提案の趣旨に添い、そうした場を設けたい。
(異議なしの声)

異議ないものと認め本案は承認されました。第4号議案昭和46年度収入支出予算案を提案いたします。

事務局より説明願います。

(事務局長) 資料朗読説明

(議長) 只今の説明について質疑ないかをはかる。

(久保田) 高野山上に祭る、しろあり関係物故者慰霊碑を建設しながら供養費が計上されていない。年1度慰霊祭を行なう方がよいと思う。

(事務局長) 本年度予算に除幕式及び慰霊碑として30万円計上している。来年度には御提言の計画予算を提案する。

(了解) (異議なしの声)

(議長) 御異議ないものと認め本案は承認されました。続いて第5号議案 役員顧問および参与の選任について提案する。只今の役員顧問および参与は2月末日を以て任期となるので選任することといたしたい。選任方法を如何いたしましうか。

(清末) 事務局で準備している候補者名簿を提出していただきたい。

(賛成の声)

(議長) 事務局より役員候補者名簿を提出されたい。

(事務局長) 資料朗読説明

(議長) 御意見ございませんか。

(池田) 文部省管理局施設関係の方を参与に入れて欲しい。建築災害の中に蟻害が入っていない。この方面の認識を改めるよう啓蒙する必要がある。さきほど提案した文部省管理局施設部との話し合いの場を設けて欲しい。

(議長) 御提案の趣旨に添い、参与を1名追加することといたしたい。人選は御一任願いたい。

(池田) 就任を御願いする場合は文書で就任承諾をとるのか。

(事務局長) 就任承諾書をいただいている。

(議長) それでは参与1名(人選は会長一任)追加することで候補者名簿どおり選任されました。続いて第6号議案会員の除名についてを提案いたします。事務局より説明願います。

(事務局長) 資料朗読説明

(異議なしの声)

(議長) 本案は承認されました。

第7号議案その他について何かありますか。

(事務局長) 本日承認されました事業計画の中の防除士資格検定試験、第14回しろあり対策全国大会を開催案内のとおり実施するので周知参加方を御願います。

(清末) 大会と総会を今後分けて実施するのか。

(事務局長) 大会と総会はその内容、参加者が違うので今後も別に行ないたい。ただ遠距離から参加される方々の便利を考

慮して第1日を総会、第2日を大会として行なうことについて検討したい。

(小林) しろあり防除処理仕様書検討委員会委員に地域的に防除士および薬剤メーカー代表を参加させていただきたい。

(神山) 芝本委員長に代ってお答えする。多忙の折遠距離から参加願うことは事実上困難である。大会の研究会の席上で十分に意見をいただきたい。

(了解)

(岡田) 協会に依頼される防除処理について一部の者だけに流されている。会員を同等に扱うよう配慮されたい。

(事務局長) 防除旬間その他を通じて協会に調査を依頼されたものは理事会の承認を得て日本防除士会に依頼している。協会が個々の会員に個別的に流すことは出来ないし、いろいろな間違いをおこすこととなるので、これはさげたい。何かよい方法があったら教えて欲しい。

(この間2、3の応答あって)

(清末) 本件は総会の案件でない。本部と改めて別に話をされ、この程度で打切られたい。

(了解)

(清末) 現行の定款上会長が議長となるのは止むを得ないが、議長を別として会長は内閣総理大臣のように質問に答える側にした方がよいと考えるがどうか。

(議長) 御意見として承けたまわっておくが、現行上困難である。

(吉野) 今回の建築基準法の政令改正に際し、しろあり対策が取り上げられたことは一歩前進であるが、従来の府県条例から防除の項目がはずされることは後退である。これに対し建設省から具体的な指示もなく解釈もしめされていない。本部から府県に対し指示解釈を行なうよう陳情してほしい。又会長名で知事に条例制定を陳情されたい。福岡県における条例案として検討されている内容は次のとおりである。

木造建築物等の防蟻

木造建築物又は木造その他の構造とを併用する建築物の木造の構造部分はしろありの侵蝕を防ぐために有効と認めて知事の指定する工法(以下「防蟻工法」という)を施さなければならない。ただし土地および建築物の状況により蟻害のおそれがないと認められる場合はこの限りでない。

九州地方の特にイエシロアリの被害にかんがみ木造建築物の防蟻措置を定め、防蟻工法は告示で次のものを有効と認めて指定する。

1. 建設省所管 社団法人日本しろあり対策協会標準仕様書による工法
2. 物理的な防蟻法を併用する工法
3. 防蟻剤の種類、品質、濃度は社団法人日本しろあり対策協会が認定し、知事が有効と認め指定する。

以上

(議長) 御要望の趣旨にしたがい善処いたします。

以上をもちまして本日の通常総会の議事は全部終了いたします

した。御協力いただきましてまことに感謝いたします。

終了 11時50分

上記議事録が正確であることを証するため議事録署名人が署名捺印する。

昭和46年2月26日

議長 大村 巳代治
理事 森 八郎
理事 神山 幸弘

第1号議案

昭和45年度会務および事業実施報告

1. 会務報告

(1) 会員の状況

会 員 別	44.12.31 現在数	45.12.31 現在数	比 較 増 減△	備 考
普通会員 個人会員	69	69	0	
〃 法人会員	35(100)	44(122)	9 (22)	
防 除 士 会 員	515	613	98	
賛 助 会 員	11 (24)	12 (21)	1(△3)	
計	630	738	108	

() 内は口数

(2) 諸 会 合

(A) 理事会および各種委員会の開催

(i) 理 事 会

第1回 理事会 45年1月29日(木)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 大村会長、芝本、前岡各副会長、森、森本、河村、柳沢、内田、倉林、前田、香坂、酒井、小田、貴島各理事

委任状出席者 中島副会長、神山、遠藤、伊藤、野村、桑野各理事

議 事

1. 昭和44年度取入支出決算について
2. 表彰者の決定について
3. しろあり防除処理仕様書改訂(案)について
4. 鳥栖しろあり研究所の継続使用について
5. 越井木材工業(株)「ポリデンウッド」の防蟻材料認定申請について
6. 第13回しろあり対策全国大会運営者の決定について
7. その他

第2回 理事会 45年3月13日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 大村会長, 芝本, 前岡各副会長, 森, 雨宮, 森本, 神山, 柳沢, 内田, 倉林, 前田, 酒井, 香坂各理事

委任状出席者 中島副会長, 小田, 貴島, 野村, 西本, 河村各理事

議 事

1. 第13回しろあり対策全国大会実施報告ならびにその前後処理について
2. その他

第3回 理事会 45年4月18日(土)

於 虎ノ門共済会館

出席者 大村会長, 芝本副会長, 森, 雨宮, 森本, 河村神山, 柳沢, 内田, 倉林, 香坂, 酒井, 貴島各理事

委任状出席者 前岡, 中島各副会長, 遠藤, 桑野, 前田小田各理事

議 事

1. 昭和45年度防除士資格検定試験結果報告について
2. しろあり防蟻材料およびその施工方法の認定実施の賛否の結果報告について
3. 昭和45年度しろあり防除旬間の開催について
4. 児玉化学工業㈱既定認定薬剤主成分の変更について
5. 山陽木材防腐㈱および山陰木材防腐㈱の防蟻材料およびその施工方法認定申請について
6. その他

第4回 理事会 45年5月16日(土)

於 虎ノ門共済会館

出席者 大村会長, 芝本, 中島各副会長, 森, 内田, 倉林, 前田, 香坂, 酒井各理事

委任状出席者 前岡副会長, 雨宮, 森本, 遠藤, 河村, 神山, 柳沢各理事

議 事

1. 防蟻材料の認定について
2. 防除薬剤の認定について
3. 広報用スライドの選定について
4. その他

第5回 理事会 45年10月9日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 大村会長, 芝本副会長, 森, 雨宮, 森本, 河村神山, 前田, 柳沢, 内田, 倉林, 香坂各理事

委任状出席者 中島副会長, 貴島, 西本, 桑野各理事

議 事

1. しろあり住宅公団受託調査研究の報告について
2. 防除薬剤認定の結果報告について
3. 防除薬剤認定申請について
4. 防蟻材料およびその施工方法の認定申請について
5. しろあり広報用スライド作成と有償頒布について

6. その他

第6回 理事会 45年12月14日(月)

於 住宅会館会議室

出席者 大村会長, 芝本副会長, 森, 雨宮, 河村, 遠藤神山, 前田, 柳沢, 内田, 倉林, 酒井, 香坂各理事

委任状出席者 前岡, 中島各副会長, 貴島, 西本, 伊藤, 小田, 桑野各理事

1. しろあり防除薬剤認定申請について
2. しろあり防除薬剤認定結果報告について
3. 防蟻材料の認定申請について
4. 受託研究報告について
5. 防除士会費長期滞納者の除名処分について
6. その他

第7回 理事会 45年12月25日(金)

於 おくぼ

出席者 大村会長, 芝本, 前岡各副会長, 森, 森本, 河村, 神山, 前田, 柳沢, 内田, 倉林, 酒井, 香坂各理事

委任状出席者 中島副会長, 西本, 小田, 野村, 貴島, 遠藤, 伊藤各理事

議 事

1. しろあり防除処理仕様書改訂(案)の処理について
2. 防蟻材料認定結果報告について
3. しろあり広報用スライドの選定について
4. 表彰規程の一部改正について
5. 防除士資格検定試験の実施計画について
6. その他

(四) 企画調査委員会

企画調査委員会 45年3月13日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 大村委員長, 芝本, 前岡, 森, 河村, 神山, 香坂各委員

議 事

1. 第13回しろあり対策全国大会実施報告ならびにその前後策処理について
2. しろあり供養塔台字案について
3. 大会および総会の調査開催時期について
4. しろあり防除の調査研究受託について
5. その他報告事項

(五) しろあり防除処理仕様書検討委員会

第1回 しろあり防除処理仕様書検討委員会

45年1月17日(土) 本部会議室

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 森本, 河村, 神山, 酒井, 香坂各委員

議 事

1. しろあり防除処理仕様書改訂(案)の検討について
2. その他

第2回 しろあり防除処理仕様書検討委員会

45年6月9日(火)

於 虎ノ門共済会館

出席者 芝本委員長, 森, 河村, 神山, 香坂各委員
議 事

1. しろあり防除処理仕様書改訂(案)について
2. その他

第3回 しろあり防除処理仕様書検討委員会

45年6月26日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 森本, 神山, 香坂, 酒井各委員

議 事

1. しろあり防除の基準仕様書の作成に関する研究
2. その他

第4回 しろあり防除処理仕様書検討委員会

45年9月4日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 河村, 神山, 香坂各委員
議 事

1. 公団住宅のしろあり防除処理基準仕様書(案)の検討について
2. その他

第5回 しろあり防除処理仕様書検討委員会

45年9月26日(土)

於 虎ノ門共済会館

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 河村, 神山, 河井, 香坂各委員

議 事

1. 公団住宅のしろあり防除処理基準仕様書(案)の検討について
2. その他

第6回 しろあり防除処理仕様書検討委員会

45年10月21日(水)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 森本, 神山, 酒井, 香坂各委員

議 事

1. 公団住宅のしろあり防除処理基準仕様書(案)の検討について
2. その他

(イ) 防蟻材料およびその施工方法認定委員会

第1回 防蟻材料およびその施工方法認定委員会

45年5月8日(金)

於 虎ノ門共済会館

出席者 芝本委員長, 森, 河村, 神山, 香坂各委員
議 事

1. 防蟻材料およびその施工の認定について
2. その他

第2回 防蟻材料およびその施工方法認定委員会

45年12月25日(金)

於 おくぼ

出席者 芝本委員長, 森, 森本, 河村, 神山, 酒井, 香坂各委員

議 事

1. 防蟻材料認定の審査について
2. その他

(ロ) 表彰審査委員会

表彰審査委員会

45年1月22日(木) 於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 大村委員長, 芝本, 前岡, 森, 森本, 河村, 遠藤, 香坂各委員

議 事

1. 表彰者審査について
2. その他

(ハ) 防除士資格検定委員会

第1回 防除士資格検定委員会

45年2月17日(火) 於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 森委員長, 芝本, 雨宮, 森本, 河村, 神山, 西本各委員

議 事

1. 防除士試験問題検討について
2. その他

第2回 防除士資格検定委員会

45年4月1日(水)

於 住宅会館会議室

出席者 森委員長, 大村, 芝本, 前岡, 雨宮, 河村, 神山, 西本, 山野, 香坂各委員

議 事

1. 昭和45年度防除施工士資格検定試験答案の採点について
2. その他

(ニ) しろあり防除薬剤認定委員会

第1回 しろあり防除薬剤認定委員会

45年5月8日(金)

於 虎ノ門共済会館

出席者 芝本委員長, 森, 河村, 神山, 香坂各委員
議 事

1. しろあり防除薬剤認定について
2. その他

第2回 しろあり防除薬剤認定委員会

45年8月14日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 河村, 神山, 香坂各委員

議 事

1. しろあり防除薬剤の認定について
2. その他

第3回 しろあり防除薬剤認定委員会

45年12月14日(金)

於 虎ノ門電気ビル立山

出席者 芝本委員長, 森, 雨宮, 河村, 神山, 香坂各委員
議 事

1. しろあり防除薬剤の認定について
2. その他

㊦ 機関誌等編集委員会

第1回 機関誌等編集委員会

45年6月9日(火)

於 虎ノ門共済会館

出席者 森委員長, 芝本, 雨宮, 森本, 神山各委員
議 事

1. 機関誌第13号の刊行計画について
2. しろあり広報用スライド作成について
3. その他

第2回 機関誌等編集委員会

45年9月21日(月)

於 本部会議室

出席者 森委員長, 神山, 香坂各委員
議 事

1. 機関誌しろありの刊行について
2. その他

2. 事業の実施報告

(1) 第13回しろあり対策全国大会開催

日 時 昭和45年2月19日(木), 20日(金)

9:30~17:00

場 所 高知市農協会館

第1日行事(2月19日(木))

(A) 挨拶 会 長 大 村 巳代治

(B) 祝 辞 高知県知事 溝 関 増 己

高知市長 坂 本 昭

(C) 総会行事

(1) 昭和44年度事業実施報告について

(2) 昭和44年度収入支出決算報告の承認について

(3) 昭和45年度事業計画(案)の承認について

(4) 昭和45年度収入支出予算(案)の承認について

(D) 表彰式

(E) 講演会

(1) しろあり対策と建築行政 前 岡 幹 夫

(2) 防蟻工事の施工精度とその考え方について

沖 本 千代市

(3) 樹木と山林に対するしろあり対策 中 島 茂

(4) 新材のしろあり被害の研究について

宮崎大学農学部研究室

(F) 研究会

(1) しろあり防除処理仕様書改訂(案)について

司会 森 本 博

(G) 映画上映「土佐の観光」提供高知県 神 山 幸 弘

(H) 懇談会(パーティ)

第2日行事(2月20日(金))

(I) 研究会(前日に続いて)

(1) しろあり防除薬剤の安全使用について

司会 雨 宮 昭 二

(2) 鳥栖しろあり研究所の運営管理について

司会 河 村 肇

(J) 見学会

コース 高知城一桂浜一五台山一高知駅

2. しろあり防除薬剤の認定状況

種 別	薬 剤 名	申 請 者
予 防 剤	ケ ミ ド リ ン	児玉化学工業株式会社
	A L - O	株式会社 三共消毒
	フマキラーウッド 100	フマキラー株式会社
	キシラモンヘル	武田薬品工業株式会社
	ブチノックス	越井木材工業株式会社
ネオアリシス	東洋木材防腐株式会社	
駆 除 剤	ケ ミ ド リ ン	児玉化学工業株式会社
	A L - O	株式会社 三共消毒
	ウッドリナーO	日本マレニット株式会社
	キシラモンヘル	武田薬品工業株式会社
	ブチノックス	越井木材工業株式会社
ネオアリシス	東洋木材防腐株式会社	
土 壌 処 理 剤	ケミドリン乳剤	児玉化学工業株式会社
	A L - W	株式会社 三共消毒
	サンソイル	山陽木材防腐株式会社
	ネオクレオーゲン	東洋木材防腐株式会社

3. しろあり防除施工士資格検定試験の実施

試験日 昭和45年3月27日

受験地	受 験 者 数	合 格 者 数	登 録 者 数	未 登 録 者 数	備 考
東 京	23人	19人	19人	0人	
京 都	44	39	37	2	
福 岡	51	47	42	5	
沖 縄	5	5	5	0	
計	123	110	103	7	

4. 防蟻材料およびその施工方法認定状況

商 品 名	形 状	商 品 の 使 用	申 請 者
ポリデンウッド (ポリデン土台)	建築用加圧防 腐防蟻木材	建築用材屋外用材土 木用材, その他	越井木材工 業株式会社
P G ス ケ ャ ー	同 上	一般の木材土台と同じ使 用方法でくぎ打ち接着切 断など全く可能	山陽木材防 腐株式会社
P G ア ピ ト ン	同 上	同 上	〃
サンインP G ス ケ ャ ー	同 上	同 上	山陰木材防 腐株式会社

5. 調査研究の受託状況

(1) ウッドライトのしろあり喰害試験

(イ) 委託期間 自昭和45年5月11日
至昭和45年11月10日

(ロ) 委託費 350,000円

(ハ) 委託者 積水化成品株式会社

(ニ) 調査研究方法

防蟻材料およびその施工方法認定委員会がこの研究に当たり、主任研究員として河村肇氏が担当した。

(2) しろあり防除処理基準仕様の作成に関する研究

(イ) 委託期間 自昭和45年7月30日
至昭和45年9月30日

(ロ) 委託費 300,000円

(ハ) 委託者 日本住宅公団

(ニ) 調査研究方法

しろあり防除処理仕様書検討委員会がこの研究に当たり、主任研究員として雨宮昭二、神山幸弘両氏が担当した。

6. しろあり防除旬間実施状況

東京地区におけるしろあり防除旬間は企画により実施されたが、その概要は次のとおりである。

しろあり防除相談所の開設――

とき 45年5月11日より45年5月20日まで

ところ (イ) 東京銀座松屋

5月11日より5月20日まで

於 社団法人日本住宅協会住宅相談所

(ロ) 東京池袋西武百貨店

5月15日より5月20日まで

行事

1. しろあり防除相談 調査無料

2. しろあり防除処理 有料

3. 「しろありの話」印刷物 無料配付

本年も行事の広報として読売新聞に広告し、併せて記事扱として広報して貰った。

この期間中これと相前後して受付件数は270件で、これを地域別に分類すると、東京、神奈川、埼玉、千葉の順序で、被害場所はヤマトシロアリの特徴として風呂場、台所、玄関

調査参考	東京都	184件	神奈川県	39件
	埼玉県	35件	千葉県	11件
	栃木県	1件	計	270件

7. 第3回表彰者氏名

氏名	役職名
亀崎 初藏	中村化学工業株式会社代表取締役
藤森 重己	東都防疫協会代表取締役
酒井 清六	みくに化学株式会社取締役社長
小林 治夫	株式会社前田白蟻研究所
今村 博数	株式会社今村化学工業白蟻研究所 取締役社長
桑野 田郎	株式会社桑野しろあり工務店代表者
深町 勝郎	深町白蟻駆除予防株式会社社長
東 隆敏	東白蟻研究所代表取締役
野村 渡	野村しろあり研究所長
米本 安秀	鳴戸白蟻対策研究所長
真鍋 富太郎	エヒメ白蟻研究所長
11名	

第2号議案

昭和45年度収入支出決算報告書

(収入の部)

予算科目	予算額	決算額	過不足△	備考
1. 会費収入	3,660,000円	2,832,680円	△ 827,320円	
1. 普通会员会費	660,000	641,600	△ 18,400	
1. 法人会費	600,000	590,000	△ 10,000	
2. 個人会費	60,000	51,600	△ 8,400	
2. 防除士会費	2,400,000	1,580,000	△ 820,000	
1. 防除士会費	2,400,000	1,580,000	△ 820,000	
3. 賛助会費	100,000	85,000	△ 15,000	
1. 賛助会費	100,000	85,000	△ 15,000	
4. 過年度会費	500,000	526,080	26,080	
1. 過年度会費	500,000	526,080	26,080	
2. 事業収入	4,250,000	4,129,209	△ 120,791	
1. 手数料収入	3,100,000	3,208,494	108,494	

予 算 科 目	予 算 額	決 算 額	過 不 足△	備 考
1. 薬剂認定手数料	1,350,000円	1,290,000円	△ 60,000円	
2. 防蟻材料認定手数料	300,000	500,000	200,000	
3. 防除士検定手数料	450,000	378,000	△ 72,000	
4. 防除士登録手数料	1,000,000	1,040,494	40,494	
2. 研究施設使用料	300,000	50,000	△ 250,000	
1. 研究施設使用料	300,000	50,000	△ 250,000	
3. 図書頒布収入	450,000	220,715	△ 229,285	
1. 図書頒布収入	450,000	220,715	△ 229,285	
4. 研修会収入	400,000	0	△ 400,000	
1. 研修会収入	400,000	0	△ 400,000	
5. 調査研究受託収入	0	650,000	650,000	
1. 調査研究受託収入	0	650,000	650,000	
3. 雑収入	1,100,000	912,859	△ 187,141	
1. 雑収入	1,100,000	912,859	△ 187,141	
1. 広告料収入	600,000	308,000	△ 292,000	
2. 雑収入	500,000	604,859	104,859	
4. 前年度繰越金	1,723,440	1,723,440	0	
1. 前年度繰越金	1,723,440	1,723,440	0	
1. 前年度繰越金	1,723,440	1,723,440	0	
計	10,733,440円	9,598,188円	△ 1,135,252円	

(支出の部)

予 算 科 目	予 算 額	決 算 額	過 不 足△	備 考
1. 事業費	5,140,000円	2,538,463円	2,601,537	
1. 大会開催費	600,000	482,331	117,669	
1. 大会開催費	600,000	482,331	117,669	
2. 薬剂認定費	300,000	24,460	275,540	
1. 薬剂認定費	300,000	24,460	275,540	
3. 防蟻材料認定費	200,000	7,520	192,480	
1. 防蟻材料認定費	200,000	7,520	192,480	
4. 防除士検定費	500,000	297,308	202,692	
1. 防除士検定費	500,000	297,308	202,692	
5. 機関誌刊行費	1,200,000	690,330	509,670	
1. 機関誌刊行費	1,200,000	690,330	509,670	
6. 研究所運営費	300,000	266,929	33,071	
1. 研究所運営費	300,000	266,929	33,071	
7. 研修会費	400,000	0	400,000	
1. 研修会費	400,000	0	400,000	
8. 調査費	200,000	28,185	171,815	

予 算 科 目	予 算 額	決 算 額	過, 不 足△	備 考
1. 調 査 費	200,000円	28,185円	171,815円	
9. 防 除 旬 間 開 催 費	200,000	187,285	12,715	
1. 防 除 旬 間 開 催 費	200,000	187,285	12,715	
10. 相 談 諸 費	240,000	25,000	215,000	
1. 相 談 諸 費	240,000	25,000	215,000	
11. 表 彰 費	100,000	38,970	61,030	
1. 表 彰 費	100,000	38,970	61,030	
12. 広 報 費	500,000	110,000	389,627	
1. 広 報 費	500,000	110,373	389,627	
13. 受 託 調 査 研 究 費	400,000	379,772	20,228	
1. 受 託 調 査 研 究 費	400,000	379,772	20,228	
2. 事 務 費	3,350,000	2,982,625	397,375	
1. 人 件 費	2,170,000	2,092,900	77,100	
1. 給 料	1,200,000	1,200,000	0	
2. 諸 手 当	880,000	872,900	7,100	
3. 福 利 厚 生 費	90,000	20,000	70,000	
2. 需 要 費	1,080,000	856,125	223,875	
1. 物 品 費	180,000	90,490	89,510	
2. 通 信 運 搬 費	180,000	172,221	7,779	
3. 印 刷 製 本 費	80,000	35,380	44,620	
4. 借 室 料	480,000	469,179	10,821	
5. 会 議 費	60,000	10,265	49,735	
6. 雑 費	100,000	78,590	21,410	
3. 旅 費	100,000	33,600	66,400	
1. 旅 費	100,000	33,600	66,400	
3. 会 議 費	600,000	485,425	114,575	
1. 会 議 費	600,000	485,425	114,575	
1. 理 事 会 費	350,000	320,561	29,439	
2. 委 員 会 費	150,000	149,864	136	
3. 支 部 長 会 議 費	100,000	15,000	85,000	
4. 支 部 交 付 金	654,000	650,900	3,100	
1. 支 部 交 付 金	654,000	650,900	3,100	
1. 支 部 交 付 金	654,000	650,900	3,100	
5. 退 職 金 積 立 金	150,000	150,000	0	
1. 退 職 金 積 立 金	150,000	150,000	0	
1. 退 職 金 積 立 金	150,000	150,000	0	
6. 予 備 費	839,440	0	839,440	
1. 予 備 費	839,440	0	839,440	
1. 予 備 費	839,440	0	839,440	
計	10,733,440円	6,807,413円	3,926,027円	

貸借対照表

(昭和45年12月31日現在)

借方		貸方	
現金	85,082	預り金	134,185
普通預金	2,168,333	未払金	70,000
定期預金	2,539,306	退職金積立金	320,000
振替貯金	22,239	基本財産	1,760,000
借室敷金	260,000	当年度繰越金	2,790,775
合計	5,074,960		5,074,960

負債の部

項目	摘要	金額
預り金		134,185
未払金		70,000
計		204,185
差引正味資産		4,870,775
合計		5,074,960

収支計算書

(自 昭和45年1月1日
至 昭和45年12月31日)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
事業費	2,538,463	会費収入	2,832,680
事務費	2,982,625	事業収入	4,129,209
会議費	495,425	雑収入	912,859
支部交付金	650,900	前年度繰越金	1,723,440
退職金積立金	150,000		
当年度繰越金	2,790,775		
合計	9,598,188		9,598,188

(第3号議案)

昭和46年度事業計画

1. 第14回しろあり対策全国大会の開催
2. しろあり供養塔ならびにしろあり関係物故者慰霊碑除幕式の開催
3. しろあり防除薬剤の認定
4. しろあり防蟻材料およびその施工方法の認定
5. しろあり防除士検定試験の実施
6. しろあり被害の実態調査の実施
7. 簡易耐火構造ならびに耐火構造建築物のしろあり防除処理仕様書の制定
8. 立木のしろあり防除処理仕様書の制定
9. 燻蒸処理法の処理規定の制定ならびに関連規程の改正
10. 鳥栖しろあり研究所の運営管理
11. 調査研究の受託
12. 機関誌「しろあり」その他図書の刊行
13. しろあり防除の啓蒙の推進
 - (1) 防除月間の開催
 - (2) しろあり広報用スライドの頒布
 - (3) しろあり広報用パネルの作成, 展示, 貸与
 - (4) しろあり広報用パンフレットの作成, 頒布

財産目録

(昭和45年12月31日現在)

資産の部

項目	摘要	金額
現金		85,082
普通預金	日本勧業銀行虎ノ門支店	2,168,333
定期預金	〃	2,539,306
振替貯金	東京地方貯金局	22,239
借室敷金		260,000
合計		5,074,960

(第4号議案)

昭和46年度収入支出予算

(収入の部)

予 算 科 目	46年度予算	前年度予算	比較増減△	備 考
1. 会 費 収 入	3,960,000円	3,660,000円	300,000円	
1. 普 通 会 員 会 費	660,000	660,000	0	
1. 法 人 会 費	600,000	600,000	0	
2. 個 人 会 費	60,000	60,000	0	
2. 防 除 士 会 費	2,400,000	2,400,000	0	
1. 防 除 士 会 費	2,400,000	2,400,000	0	
3. 賛 助 会 費	100,000	100,000	0	
1. 賛 助 会 費	100,000	100,000	0	
4. 過 年 度 会 費	800,000	500,000	300,000	
1. 過 年 度 会 費	800,000	500,000	300,000	
2. 事 業 収 入	3,650,000	4,250,000	△ 600,000	
1. 手 数 料 収 入	2,750,000	3,100,000	△ 350,000	
1. 薬 剤 認 定 手 数 料	1,350,000	1,350,000	0	
2. 防 蟻 材 料 認 定 手 数 料	300,000	300,000	0	
3. 防 除 士 検 定 手 数 料	300,000	450,000	△ 150,000	
4. 防 除 士 登 録 手 数 料	800,000	1,000,000	△ 200,000	
2. 研 究 施 設 使 用 料	150,000	300,000	△ 150,000	
1. 研 究 施 設 使 用 料	150,000	300,000	△ 150,000	
3. 調 査 研 究 受 託 収 入	500,000	0	500,000	
1. 調 査 研 究 受 託 収 入	500,000	0	500,000	
4. 図 書 頒 布 収 入	250,000	450,000	△ 200,000	
1. 図 書 頒 布 収 入	250,000	450,000	△ 200,000	
5. 研 修 会 収 入	0	400,000	△ 400,000	
1. 研 修 会 収 入	0	400,000	△ 400,000	
3. 雑 収 入	1,100,000	1,100,000	0	
1. 雑 収 入	1,100,000	1,100,000	0	
1. 広 告 料 収 入	600,000	600,000	0	
2. 雑 収 入	500,000	500,000	0	
4. 前 年 度 繰 越 金	2,790,775	1,723,440	1,067,335	
1. 前 年 度 繰 越 金	2,790,775	1,723,440	1,067,335	
1. 前 年 度 繰 越 金	2,790,775	1,123,440	1,067,335	
計	11,500,775円	10,733,440円	767,335円	

(支出の部)

予 算 科 目	46 年 度 予 算	前 年 度 予 算	比 較 増 減 △	備 考
1. 事 業 費	4,740,000円	5,140,000円	△ 400,000円	
1. 大 会 開 催 費	900,000	600,000	300,000	
1. 大 会 開 催 費	900,000	600,000	300,000	
2. 薬 剂 認 定 費	200,000	300,000	△ 100,000	
1. 薬 剂 認 定 費	200,000	300,000	△ 100,000	
3. 防 蟻 材 料 認 定 費	100,000	200,000	△ 100,000	
1. 防 蟻 材 料 認 定 費	100,000	200,000	△ 100,000	
4. 防 除 士 検 定 費	300,000	500,000	△ 200,000	
1. 防 除 士 検 定 費	300,000	500,000	△ 200,000	
5. 受 託 調 査 研 究 費	500,000	400,000	100,000	
1. 受 託 調 査 研 究 費	500,000	400,000	100,000	
6. 機 関 誌 刊 行 費	1,200,000	1,200,000	0	
1. 機 関 誌 刊 行 費	1,200,000	1,200,000	0	
7. 研 究 所 運 営 費	300,000	300,000	0	
1. 研 究 所 運 営 費	300,000	300,000	0	
8. 調 査 費	200,000	200,000	0	
1. 調 査 費	200,000	200,000	0	
9. 防 除 旬 間 開 催 費	100,000	200,000	△ 100,000	
1. 防 除 旬 間 開 催 費	100,000	200,000	△ 100,000	
10. 相 談 所 費	240,000	240,000	0	
1. 相 談 所 費	240,000	240,000	0	
11. 表 彰 費	100,000	100,000	0	
1. 表 彰 費	100,000	100,000	0	
12. 広 報 費	600,000	500,000	100,000	
1. 広 報 費	600,000	500,000	100,000	
13. 研 修 会 費	0	400,000	△ 400,000	
1. 研 修 会 費	0	400,000	△ 400,000	
2. 事 務 費	3,665,000	3,350,000	315,000	
1. 人 件 費	2,465,000	2,170,000	295,000	
1. 給 料	1,380,000	1,200,000	180,000	
2. 諸 手 当	985,000	880,000	105,000	
3. 福 利 厚 生 費	100,000	90,000	10,000	
2. 需 要 費	1,100,000	1,080,000	20,000	
1. 物 品 費	180,000	180,000	0	
2. 通 信 運 搬 費	180,000	180,000	0	
3. 印 刷 製 本 費	100,000	80,000	20,000	
4. 借 室 料	480,000	480,000	0	
5. 会 議 費	60,000	60,000	0	
6. 雑 費	100,000	100,000	0	

予 算 科 目	46年度予算	前年度予算	比較増減△	備 考
3. 旅 費	100,000	100,000	0	
1. 旅 費	100,000	100,000	0	
3. 会 議 費	800,000	600,000	200,000	
1. 会 議 費	800,000	600,000	200,000	
1. 総 会 費	200,000	0	200,000	
2. 理 事 会 費	350,000	350,000	0	
3. 委 員 会 費	150,000	150,000	0	
4. 支 部 長 会 議 費	100,000	100,000	0	
4. 支 部 交 付 金	700,000	654,000	46,000	
1. 支 部 交 付 金	700,000	654,000	46,000	
1. 支 部 交 付 金	700,000	654,000	46,000	
5. 退 職 金 積 立 金	250,000	150,000	100,000	
1. 退 職 金 積 立 金	250,000	150,000	100,000	
1. 退 職 金 積 立 金	250,000	150,000	100,000	
6. 予 備 費	1,345,775	839,440	506,335	
1. 予 備 費	1,345,775	839,440	506,335	
1. 予 備 費	1,345,775	839,440	506,335	
計	11,500,775円	10,733,440円	767,335円	

(付帯事項) 昭和47年度予算が年度開始前に議決されない場合は、その間この予算を基準として執行することを承認する。

(第5号議案)

役員、顧問および参与の選任について

現在の役員は昨年46年2月末日を以て任期満了となるので本日の総会において改選することとしたい。

顧問および参与についても定款第16条第4項により役員の任期に準ずることとなっているので併せて推せんすることとしたい。

役 員 名 簿

役 名	氏 名	所 属
理 事	大 村 巳代治	日本建築センター
〃	芝 本 武 夫	東京農業大学農学部
〃	前 岡 幹 夫	全国建築士連合会
〃	中 島 茂	西南女学院短期大学
〃	森 八 郎	慶応義塾大学経済学部
〃	雨 宮 昭 二	農林省 林業試験場
〃	森 本 博	職業訓練大学校
〃	遠 藤 嘉 数	森林資源総合対策協議会
〃	河 村 肇	日本国有鉄道技術研究所
〃	神 山 幸 弘	早稲田大学理工学部
〃	柳 沢 清	三共 株式会社

役 名	氏 名	所 属
理 事	早 川 一 也	山宗化学 株式会社
〃	酒 井 清 六	日本しろあり防除協会
〃	香 坂 正 二	日本しろあり対策協会
〃	金 平 洋 一	日本木材防腐工業組合
〃	貴 島 恒 夫	京都大学木材研究所
〃	西 本 孝 一	京都大学木材研究所
〃	伊 藤 修 四 郎	大阪府立大学農学部
〃	倉 林 育 四 郎	武田薬品工業 株式会社
〃	前 田 保 永	日本しろあり対策協会 関西支部
〃	野 村 孝 文	九州芸術工科大学環境設計学科
〃	清 水 薫	宮崎大学農学部
〃	桑 野 田 郎	日本しろあり対策協会 九州支部
〃	川 田 茂 夫	沖縄しろあり防除士協会
監 事	熊 谷 兼 雄	建築業協会
〃	中 村 章	日本木材加工技術協会

顧問および参与名簿

役員	氏名	所属
顧問	沢田 光 英	建設省 住宅局
〃	渥美 健 夫	建築業協会
〃	鈴木 穂一郎	日本木材防腐工業組合
参与	前川 喜 寛	建設省 住宅局
〃	寺嶋 三 雄	神奈川県 建築部
〃	宮脇 和 正	大阪府 建築部
〃	北島 照 躬	兵庫県 建築部
〃	吉村 卓 美	福岡県 建築部
〃	前田 義 雄	住宅金融公庫建設指導部
〃	桑山 行 夫	日本住宅公団 管理部
〃	関野 克	東京国立文化財研究所
〃	日名子 元 雄	文化庁文化財保護部
〃	佐野 定 徳	東京防衛施設局 建設部
〃	森 徹	日本大学工学部
〃	高山 恒 雄	日本国有鉄道技術研究所
〃	小田 久 五	農林省林業試験場
〃	森本 桂	農林省林業試験場九州支場
〃	岩下 松 雄	鹿児島県建築士会
〃	池原 貞 雄	琉球大学理工学部

(第6号議案)

会員の除名について

定款第10条第1号により会費長期未納の下記の者を除名することといたしたい。

府県名	氏名	滞納年度	備考
愛知	和田 基 己	年 年 42-45	
和歌山	土田 栄太郎	42-45	
〃	岡本 政 仁	43-45	
〃	緒方 通 成	43-45	
山口	木本 吉 保	42-45	
〃	河野 通 大	43-45	
徳島	川内 博	43-45	
〃	升本 莊 一	43-45	
〃	米田 忠 則	43-45	
〃	坂東 孝 男	43-45	
福岡	古場 和 敏	43-45	
〃	分部 保	42-45	
〃	石丸 明 治	42-45	
〃	藤内 斌	43-45	
〃	林田 利 行	42-45	
佐賀	細井 和 芳	42-45	
長崎	本多 正 憲	42-45	
宮崎	高橋 重太郎	42-45	
〃	長友 松 美	42-45	
熊本	河上 利 紀	43-45	
〃	滝本 敏 夫	43-45	
鹿児島	市森 哲 雄	43-45	
沖縄	池宮城 秀 吉	42-45	
〃	運天 先 忠	42-45	
〃	小嶺 幸 雄	43-45	
〃	大司 隆之助	42-45	
合 計	26人		

協会のうごき

第14回しろあり対策全国大会開催報告

第14回しろあり対策全国大会は当協会社団法人化記念事業として計画した「しろあり供養塔ならびにしろあり関係物故者慰霊碑」の除幕式を兼ねて和歌山県高野町の新装なった中央公民館で4月6日、7日の両日180余名の参加を得て行なわれた。

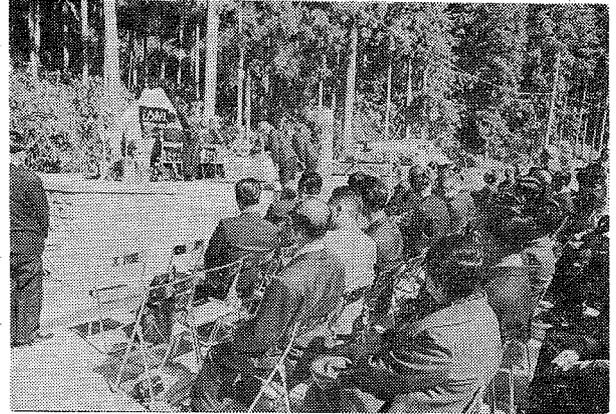
会は9時30分大村巳代治会長の開会の挨拶あって、和歌山県知事代理竹元千多留土木部長、地元徳富義孝高野町長の祝辞ならびに激励の辞があり、続いてしろあり問題の功労者表彰ならびにしろあり被害調査協力者に対する感謝状の授与式が行なわれた。続いて大会講演に入る。「公共住宅のしろあり被害とその対策について」日本住宅公団福岡支所保全課長織田勝信氏、「わが国のしろありの現状について」慶応大学教授当協会理事森八郎氏から日頃の蘊蓄をかたむけられた。以上で午前の行事を終り、午後1時から芝本武夫副会長司会の下に研究会が行なわれた。議題1「耐火構造住宅のしろあり被害とその防除処理について」を神山幸弘理事解説、議題2「改正しろあり防除処理仕様書について」森本博理事解説、議題3「しろあり防除の啓蒙活動について」を中島茂副会長解説で行なわれた。

続いて前岡幹夫副会長司会で議題1「木材処理法と処理木材について」、議題2「木喰い虫その他の害虫について」、議題3「建築基準法の政令改正について」の研究が行なわれた。

その後芝本武夫副会長司会における自由討議が行なわれ、活発な意見の交換が行なわれた。結論として、耐火構造住宅およびケーブルの防除処理仕様書の制定、建築基準法政令第49条の建設省の公式的見解の表明、地方公共団体におけるしろあり防除のための条例の制定促進をはかるよう要望された。

続いて「広報用しろありスライド」ならびに「しろありの話」の映写があって大会第1日を修了した。

4月7日は午前9時より高野山奥の院しろあり供養塔前に集合、大村会長の挨拶、関西支部長貴島恒夫氏の設立経過報告、献塔の儀、会長の除幕の後、祭文の奏上の後、徳富義孝法主外3名の僧侶の読経に全員拝礼、除幕式の行事を無事終了した。終って奥の院各墓所金剛峯寺等を見学して全日程を終了した。



理事会および各種委員会開催

昭和46年1月以降の理事会および各種委員会の開催状況は、次のとおりである。

第1回理事会 昭和46年2月3日(金)

於 虎の門共済会館

出席者 大村会長、前岡副会長、森、森本、神山、柳沢、早川、倉林、酒井、貴島、伊藤、西本、香坂の各理事

委任状出席者 中島、遠藤、河村、前田、野村、清水、桑野、川田の各理事

議事

1. 昭和45年度事業実施報告について
2. 昭和45年度収入支出決算について
3. 昭和46年度事業計画(案)について
4. 昭和46年度収入支出予算(案)について
5. 役員、顧問および参与の改選について
6. 会員除名について
7. 総会および大会の開催計画について
8. その他

第2回理事会 昭和46年3月16日(水)

於 虎の門電気ビル立山

出席者 大村会長、芝本副会長、森、河村、神山、柳沢、早川、倉林、西本、香坂の各理事

委任状出席者 前岡、中島、雨宮、遠藤、酒井、金平、貴島、西本、伊藤、前田、野村、清水、桑野、川田の各理事

議事

1. 会長、副会長選任について
2. 第14回しろあり対策全国大会の運営について

しろあり防除施工士事業所一覧

昭和46年10月31日現在受付

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
<北海道>		
日本サニタ (株) 道央事業部	札幌市福住27庄村ビル3F 011(861)2277	岡部 謙治
道北営業所	旭川市10条通9一右7号 0166(23)3505	//
道東営業所	釧路市川上町2一8 0154(22)6411	//
帯広出張所	帯広市西1条南27一2一7 01552(3)5556	//
函館営業所	函館市豊川町19一13 0138(23)0540	//
浜田薬業 (株)	札幌市北4西11 011(221)8291	牧野 啓一
山陽木材防腐 (株) 札幌営業部	札幌市南2条西7丁目 011(261)5551	伊藤 良雄
<青森>		
日本サニタ (株) 青森営業所	青森市中央2一1一4 0177(77)2086	岡部 謙治
<岩手>		
日本サニタ (株) 盛岡営業所	盛岡市高松1一7一17 0196(51)3303	岡部 謙治
<宮城>		
イカリ消毒 (株) 仙台営業所	仙台市土樋1一1一3大沼ビル 0222(27)8092	黒沢 敬
山陽木材防腐 (株) 塩釜工場	塩釜市中之島町4一13 02236(2)0151	高玉 昭彦
<秋田>		
日本サニタ (株) 秋田営業所	秋田市大町1一6一33 0188(23)8342	岡部 謙治
<茨城>		
イカリ消毒 (株) 茨城営業所	水戸市新荘3一36 タカヒサビル 0292(31)2614	永沼 清久
カラタ白蟻研究所	那珂郡那珂町菅谷663 02929(8)2057	唐田 親男
東洋木材防腐 (株) 茨城工場	那珂郡那珂町菅谷 02929(8)1122	居森 啓吉
<栃木>		
(有) 宇塚至誠堂本店	宇都宮市相生町4 0286(22)1946	宇塚 義夫・宇塚 道夫
<群馬>		
赤城消毒化学研究所	伊勢崎市曲輪町17 0270(25)2405	星野 晃一
浩和薬品 (株)	高崎市日高町493 0273(27)0545	竹内 進・竹内 七郎
山陽木材防腐 (株) 群馬工場	伊勢崎市長沼町字番割 0270(32)0611	三田 正信
<埼玉>		
カリ消毒 (株) 埼玉営業所	大宮市堀之内町1一335 0486(41)6041	永沼 清久
共 (株) 埼玉出張所	与野市上落合字後原848一1 0488(33)3850	増田 健司
東洋木材防腐 (株) 埼玉工場	入間郡日高町原宿 0429(9)2191	鷹齋 洋右
<千葉>		
株 国 松	千葉市道場南1一22 0472(27)9211	南村 昭朗・岡本 龍夫

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
㈱ コントロールセンター	千葉市仁戸名町357 0472(61)2327	中村 好男
三 共 ㈱ 千葉出張所	千葉市新千葉2-1-12 0472(41)5141	大島 郁男
㈱ 団地サービス 千葉支店	習志野市袖ヶ浦3-2袖ヶ浦団地内 0474(75)1131	横山 優
千葉支店松戸店	柏市明原52-2 0471(64)8173	真中 豊
日本白蟻コンサル研究所	習志野市大久保1-25-4 0474(72)1605	望月 梅吉
習志野支所		
<東 京>		
アペックス産業(株) 本 社	港区芝浦 区 大内 146-3 03(434)6474	元木三喜男・ 元木 雄 ・猪田 昭三 清水 敏男・ 元木 貢 ・ 宮井 行徳 森本 常吉
イ カ リ 消 毒 ㈱	新宿区角筈1-810新宿大栄ビル 03(356)6191	黒沢 真次
// 多摩営業所	立川市羽衣町2-2-30 0425(24)3232	黒沢 敬
㈱今村化学工業白蟻研究所	千代田区神田司町2-6 03(256)8636	今村 誠治・岩本 正
東京支店		
ウ ッ ド キ ー パ ー ㈱	渋谷区渋谷2-5-9 03(400)4930	肱黒 貞夫・加藤 誠一
エスロン害虫消毒本社	中央区日本橋蛸殿町3-4 03(666)7530	岡田金之助
大 森 薬 品 ㈱	千代田区神田佐久間河岸59号地 03(862)6111	佐藤 雅夫・田口 千三
㈱ 化 学 消 毒	豊島区南池袋1-1-3 03(988)4242	本間 茂
近畿白蟻(株) 東京出張所	世田ヶ谷区桜上水2-11-22 03(303)7447	太田 光孝 田中 丈夫
㈱ 慶 応 商 事	港区三田2-15-45 108 03(453)6098	森野 武彦 大阪
ラットパトロールピコイ	渋谷区東1-26-31 03(407)6464	鬼海 茂
児 玉 化 学 工 業 ㈱	中央区銀座6-5-8 03(571)2084	尾崎 精一
三 共 ㈱ 本 社	中央区銀座2-7-14 03(562)0411	柳沢 清・藤吉 秀敏・赤羽根 登 稲津 順三・安藤 弘一・鈴木 宏司 宮沢 幸雄
// 東京支店	中央区日本橋本町3-1 03(279)1511	秋葉 剛・森 与志・栉田今朝夫 浜田 明・阿部 敏郎・関口 元 小田 晟雄・水野 常雄・磯田 博義 飯田 明男・田中 祐二・井上 朝吉 小檜山隆夫・永井 隆男・宇田川昭男 松浦 晃也・藤田 幸夫・清水 昭英 和井田辰男・渡辺 隆司・早野 孝
三 共 サ ニ タ リ ㈱	目黒区東山2-8-8 153 03(719)7231	宮川 聖
㈱ 三 共 消 毒 本 社	品川区東大井5-26-22 03(474)2741	小川 徳松・小川 智儀・内田 隆治 鳥塚 幸蔵・土田 繁・垣内 武範 高橋 義明・黒田 義信・戸張 韶雄
// 王子支社	北区王子本町1-18-6 03(908)4163	坂巻 千弘・荻沼 武雄
山陽木材防腐(株) 事業本部	千代田区丸の内2-3-2郵船ビル 03(281)3467	原 隆雄
// 東京営業所	千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル 03(254)0831	松本 千明・徳永 広八
信濃ホームサービス社	中野区中野5-1-15 144 03(330)0521	小田切卓巳
全国環境衛生(株)	府中市8812 0423(64)1444	宗政 誠
武田薬品工業(株) 東京支社	中央区日本橋江戸橋2-7 03(273)3311	山口 清志
㈱団地サービス 東京支店	文京区本郷3-33-5 03(813)6231	安沢 清次

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
チヨダ消毒化学研究所	墨田区東向島1-10-6 03(612)1846	川野辺清一
東都防疫(株)	豊島区池袋本町1-34-10 03(981)8897	藤森 重巳・藤森勝三郎
東京白蟻(株)	杉並区成田西2-9-13 03(391)8721	十河 武志・佐藤 文夫
東洋木材防腐(株) 東京営業所	中央区銀座6-12-12 同栄別館ビル 03(572)6731	皆木 雅人
中村化学工業(株)	豊島区北大塚1-17-2 03(918)0597	亀崎 初蔵・大野 儀雄
中村化学工業(株) 東京支店	世田谷区駒沢4-11-2 03(421)3628	中村章次郎
ナギ産業(株)	文京区小日向4-9-8-104 03(945)3172	吉元 敏郎・吉元 邦夫・吉元 昌弘
日栄商工(株)	渋谷区東2-20-2 03(407)3378	角野 士朗
日本白蟻コンサル研究所	東村山市栄町1-27-16 0423(91)5151	末松 尚武・末松 泉
東村山支所		望月 梅吉
日本油脂(株) 塗料事業部	千代田区有楽町1-5 03(212)2311	桜井 真古
(株)日本白蟻対策研究所	三鷹市下蓮雀4-10-40 0422(45)3757	松本 旦・佐藤 直彦
日本マレニット(株) 本社	千代田区丸の内2-4-1 丸ビル内 44-335 03(201)4559	杉村 忠男
(株)博美化学	港区芝 芝 三条ビル 03(431)2740	吉田 浩長
(株)前田白蟻研究所東京営業所	港区芝西久保桜川町11 03(591)5805	小林 治夫
丸信興業(株)	千代田区内神田1-17-11 03(293)9650	倉沢 三男・川頭 虎雄
みくに化学(株)	台東区東上野3-36-8 03(831)2507	酒井 清六・古川 善功
(合)みくに消毒所	港区新橋2-18-7 03(571)3920	大森 靖男・大森 正孝
水沢木材(株)	江東区南砂1-4-7 03(647)1511	矢沢 秀明
(株)木材保存センター	中野区上鷲の宮2-21-20 03(999)1351	牛丸 忠二
森山塗料(株)	千代田区外神田4-3-4 03(253)5861	森山 嘉治
山田白蟻研究所	中野区本町1-9-16 03(372)7869	山田 安秀
ヤマト化学(株)	荒川区町屋3-31-2 03(892)8481	西村富佐多・佐藤 忠夫・佐藤 民雄
山宗化学(株) 本社	中央区八丁堀2-25-5 03(552)1261	小笠原孟伯・大沢 照夫・弓中 稔業
吉田消毒研究所	練馬区石神井町7-20-21 03(995)0640	吉田 邦二
<神奈川>		
アペックス燻蒸(株)	横浜市中区海岸通り3-9 横浜ビル509号	元木 広・関川 正和・岩井 光男
アペックス産業(株)横浜営業所	〃 〃 212-7023 045(201)2584	森川 実
イカリ消毒(株) 厚木営業所	厚木市幸町10-17 0462(22)2943	黒川 敬
(株)今村化学工業白蟻研究所	横浜市中区太田町4 国際ビル 045(201)8043	松井 芳文・松井 勘一・久野 澄男
横浜支店		
サガミ消毒(株)・社	川崎市久本134 044(86)6840	中島伊佐雄
三共(株) 横浜出張所	横浜市西区楠町27 045(311)3744	青木 良之・安藤 英男
(株)三共消毒 湘南支社	藤沢市藤沢323-3 0466(22)8789	大沼 君江・富松 恒博
(株)三共消毒 横浜支社	横浜市内戸部本町34-3 045(322)5776	中村 雅行・浦 等
(株)湘南白蟻研究所	藤沢市本鶴沼1-3-21 0466(23)7712	飯島 一夫
美薬(株)	藤沢市本鶴沼2-8-2 0466(25)2007	森山 実・中沢 勉・雨宮 正義
コンサル所	高座郡海老名町3492 0243(31)7575	望月 梅吉
支所	厚田 8080(厚)870	
消毒(株)	戸塚市宮松町6-9 0463(21)2020	秋元 喬
木原・興		
木		
新工場	新潟市島島町1 0252(73)5371	熊倉 正・友野 力・和平 真純

陳
廣
野
2
田
5

藪



営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
<石 川>		
石川プレハブ建設 (株) ハウスクリニック部	金沢市堀川町30-8 0762(31)7587	村山 潔・西田 修身・石田 峰之
岩村白蟻商会	石川郡美川町今町イ61-10 0762(78)4050	岩村 忠栄
三共 (株) 金沢出張所	金沢市尾山町6-30 0762(63)1211	南井 一朗
<福 井>		
協和化学 (株)	鯖江市神中町2-3-36 0778(51)1728	間所 昇
〃 福井出張所	福井市大平町 0776(24)0003	〃
(株) サ ト ウ	福井市問屋町2-14 0776(24)6606	佐藤 誠二
<山 梨>		
イカリ消毒 (株) 山梨営業所	北巨摩郡須玉町大豆生田684 055142(42)6661	神田 一郎
(株) 三 福 商 事	甲府市若松町3-17 0552(22)0286	菊池 邦彦
(株) サ	中巨摩郡竜王町富竹新田405 055276(76)2432	福田 一彦
<長 野>		
ナルコ薬品 (株)	松本市大字笹部480 02634(3)5982	岩坂 正弘
三共 (株) 長野出張所	松本市丸ノ内1-3千代田生命ビル 02634(3)7575	手塚 寿保・二俣 孝
<岐 阜>		
中部化成薬品 (株)	岐阜市秋津町5 0582(64)3291	西川 博
<静 岡>		
(株) 今村化学工業白蟻研究所	静岡市鷹匠町3-108 扇ビル 0542(46)6344	古川 裕文
〃 静岡支店	静岡市上足洗614 0542(45)4327	森沢昭二郎
近畿白蟻 (株) 静岡支店	静岡市常磐町2-1-1 0542(52)2145	矢島 晴夫・塚本 勝久
三共 (株) 静岡出張所	富士市中河原字舟川添31-2 0545(33)1218	内田 茂美・青木 憲一・佐野 幹
田子の浦港植物検査協会		鈴木 貞夫
日本白蟻コンサル研究所	清水市港町2-21 0543(52)0011	望月 梅吉
〃 富士支所	富士市昭和通り 0545(52)3561	〃
(株) 山島白蟻研究所	清水市大和町40 0543(66)2840	山島 莊助・中嶋 要
<愛 知>		
イカリ消毒 (株) 名古屋営業所	名古屋市熱田区横内町2-18 岩田ビル 052(682)2832	永沼 清久
(株) 今村化学工業白蟻研究所	名古屋市千種区覚王山通5 052(741)2865	本村 民良・植埜 勇夫
〃 名古屋支店		
近畿白蟻 (株) 名古屋支店	名古屋市千種区橋本町19 052(781)0803	田中 文夫
三共 (株) 名古屋支店	名古屋市中区丸ノ内3-4-6 052(951)1191	町村 憲威・鈴木 一
		小島 国利・原木 手代木亮一
中央建材工業 (株)	名古屋市千種区若水町3-26 052(741)2865	加藤 文夫・大飼

951

営業所名(個人営業所含む)	営業所所在地(電話番号)	所属防除士名
日本マニット(株) 名古屋支社 万城合資会社 (株)前田白蟻研究所 名古屋営業所	名古屋市東区相生町4-3 052(981)0855 名古屋市北区深田町2-13(46) 052(981)2358 名古屋市千種区赤坂町7-59 052(711)0251	坂口 正己 成瀬 逸洋 前田 正夫
<京 都>		
(株)井原建材店 社団法人 京都保健衛生協会	福知山市字天田126-2 0773(22)3417 京都市右京区西京極畑田町52-1 075(312)7044	井原 啓 井垣 次光・山本 晃・館 泰道 清水 英夫・小倉 迪夫・森内 健次
近畿製材(株) ハウスクリニック部	京都市中京区千本通三条下 075(811)3128	藤原 昌秀
(株)材幸商店	京都市南区十条大宮二筋下ル東入ル 075(681)9171	水木 春男
中西白蟻研究所 京都出張所	京都市下京区西洞院通高辻南入 075(341)0271	大林 辰雄
<大 阪>		
アペックス産業(株)大阪営業所 (株)東白蟻研究所 大阪支部 安土産業(株) (株)今村化学工業白蟻研究所 大阪支店	大阪市西区靱本町4-35奥内ビル06(443)0087 豊中市庄内栄町1-19-2 068(332)1140 大阪市東区安土町2-38 068(261)5535 大阪市北区伊勢町36マルモビル 06(363)7990	高森 弘任・西村 勝男 東 芳弘 橋田 浩和・高浦日出男 岡田 博・池田 吉孝・稲葉 順一
長田防疫科学 財団法人 大阪防疫協会 中央出張所	堺市上野芝町4-565-1 0722(43)0481 東大阪市中小阪318-11 (722)1214	長田 義和 和田 清孝
錦城薬品(株) 近畿白蟻(株) 大阪支店	大阪市東区高麗橋1-16 06(202)6721 大阪市住吉区我孫子町東4-15-2 06(692)6244	笠谷詣三良・梅田 昭吾 高橋 清次
三共(株) 大阪支店	大阪市東区道修町1-20 06(203)3421	藤井 克巳・丸橋 隆輝・森本 敏夫 大和 博・植田善三郎・横井 英雄 胡内 譲・田中 正夫・坂上 秀樹 牧川 保明・川島 将男・山本憲太郎 阿部 孝治・村西 光男
山陽木材防腐(株) 大阪営業部	大阪市東区北浜3-7広島銀行ビル 06(231)6406	山本 健弼
(株)住研 田中白蟻研究所	吹田市大字山田下1525-1 06(78)0225 泉佐野市佐野台1120 135棟1124号 0724(63)8273	西村 善郎 田中 良治
東洋木材防腐(株) 武田薬品工業(株) 大阪本社	大阪市北花区松島町37 06(401)0431 大阪市東区道修町2-27 06(231)3431	松村 重信・菊本 広一 細川 哲郎・小松 三男・田中 照庸 諸井 健次・江口 弘希
中村化学工業(株) 大阪本社	大阪市東区内本町橋詰町23桜ビル 06(941)8297	高橋 隆志・岡山 隆義・海道 邦男 酒井 薫・江口 誠・安岡 高雄 長谷川 貞雄・井上 繁俊・湯田 勝征 小林 道則
中西白 ナギ産 ナシ	大阪市阿倍野区昭和町4-11-4 06(621)6543 阪市東淀川区大隅通1-155 06(328)8165 市大字門真1048 06(908)0231	中西 務・石本 登・大林 辰雄 山本 長生 河内 正明

14
3
山

大阪営業所 7550 大阪市西王所波堀通2-28 清水EIL 06 532 2572 2513

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
㈩前田白蟻研究所 西宮支社	豊中市服部元町1-9-2 068(62)0784	由利長一郎
〃 堺営業所	堺市黒土町2369 0722(52)1934	前田 育男
㈩薬信社	大阪市東区博労町1-59 06(262)3113	木下 温子
山宗化学㈩大阪営業所	大阪市西区江戸堀3-47 06(443)3831	岸上 治・秦 勝之
有恒薬品工業㈩大阪支店	大阪市阿倍野区阪南町3-33-3 06(623)2251	金子 孝司
<兵庫>		
アイワ消毒㈩	神戸市生田区中山手通3-52 078(331)0854	清水 克恭
尼崎油化㈩	尼崎市三反田町2-7-35 06(429)2221	広瀬 隆
アペックス関西株式会社 細神戸市生田区 栄町通1-19 東方ビル 電話神戸(078)321-3211(代表)		
㈩今村化学工業白蟻研究所 神戸支店	神戸市生田区下山手通5 山手ビル 078(34)4068	酒徳 正秋・高山 光・園田 実茂 平沢 佑生 三代 展晟・宮脇 正昭 上村 孝信・作田 敏弘 今村 博数・青野日出男・国本 利男
カタラ白蟻研究所 姫路出張所	姫路市勝原区勝山町 0792(72)4952	唐田 親男
チューガイ白蟻研究所	姫路市綿町1 0792(24)8392	宮田 光男
〃 神戸営業部	神戸市垂水区東垂水町山手通4-472 078(751)3924	〃
ミナト消毒㈩	西宮市若松町3-8 0798(23)2038	真東 潮
有恒薬品工業㈩	神戸市兵庫区水木通5-5 078(575)0573	辰巳 正和・神原 博子
吉田防虫防腐工業㈩ 淡路営業所	西宮市津門飯田町2-123 0798(65)0080 洲本市下加茂2-1-17 07992(2)7323	坂口 正雄・落合 慎一 吉田 勝広
<奈良>		
奈良県しろあり防除研究所	桜井市慈恩寺953 堂浦商店 07444(2)2678	堂浦 公彦
松平白蟻研究所	奈良市登大路三番町59 0742(22)0896	松平 清志
松平白蟻殺滅予防所	奈良市南城戸南方町282 0742(22)4098	松平藤佐根
<和歌山>		
E T O 白蟻研究所	田辺市北新町 0739(22)1473	衛藤 善逸
紀南白蟻駆除社	御坊市名屋町1-11-4 (2)2753	藤野 博一
近畿白蟻㈩本社	和歌山市雑賀屋町東ノ丁2 0734(24)5356	南条 久雄・上田 清
昭和工務店	新宮市新宮5152 0735 4013	梶 勝二
信用建設㈩	新宮市藤之沢1126 0735(2)6155	新舎 芳則
富士白蟻研究所	和歌山市東長町10-35 0734(23)0524	上田 隆史
㈩前田白蟻研究所	和歌山市小松原通4-1 0734(22)1389	前田 保永
<鳥取>		
坂口白蟻研究室	米子市西町29 (有)ヤマサ電気工業所内 08592(2)2457	坂口 宏
〃 天神町営業所	米子市天神町1-58 (有)米子テレビサービス内 08592(3)2744	〃
㈩中沢商店	鳥取市吉成833-3 0857(23)2091	中沢 洋雄
<島根>		
オスモ商会 津和野営業所	鹿足郡津和野町本町 08567(2)0007	〃
山陰材木防腐㈩松江工場	松江市八幡町888 0852(37)0211	〃

1
2
12
3

茂昭男

田東

営業所名(個人営業所含む)	営業所所在地(電話番号)	所属防除士名
<岡山>		
(株)今村化学工業白蟻研究所 岡山支店	岡山市内山下2-5-7 丸の内会館 0862(22)3055	小島 千年
山陽資材(株)岡山営業所	岡山市東中央町1-11-201 梅木第三ビル 0862(31)4285	花田 晃美・三牧 太
山根白蟻研究所	岡山市清心町2-12 0862(52)7626	山根 垣
<広島>		
(有)東白蟻研究所 ウッドキーパー工事(有)	福山市霞町4-2-7 0849(23)1894	東 隆敏
共栄化学(株)	広島市山手町3-10山手ビル 0822(91)6763	森脇 照史
山陽資材(株)広島営業所	広島市東雲3-6-18 0822(82)6735	松井 照夫・原本 和男
山陽木材防腐(株)広島工場	広島市出汐町690田坂ビル1階 0822(51)5341	花田 晃美・三牧 太
三共(株)広島支店	安芸郡坂町10 08288(5)1151	小坂 渥男・松尾 通郎・松村 茂
(株)住宅ケンコウ社	広島市土橋町6-8 0822(32)5111	斎藤 悟一・大島 勇
	広島市大州1-9-22 本川町2-6-1 923588 0822(85)0154	富樫 勇・増本 春夫・佐古 紀義
(株)東和化学防蟻研究所	広島市舟入南5-2-33 0822(91)0464	田中 逸夫・光安 忠雄・岩岡 達也
中村化学工業(株)広島支店	広島市宇品海岸1-2-19 0822(61)6400	八木 隆・栗栖 邦美
広島県薬業(株)	広島市十日市町2-1-20 0822(32)2251	中川 幸一・郷田 文吾
三原白アリ相談所	三原市宮沖町260-4 08486(2)4094	吉村 正義・池田 彰人 沖迫 義春
<山口>		
大中防蟻研究所	岩国市錦見5-4-12 0827(41)2655	大中 智
オスモ商会	山口市道租町2-28 08392(2)3922	波多野俊夫
加藤化学白蟻研究所	防府市平和町15-4 0835(22)2789	加藤 勝美
(株)古賀工務店 下関営業所	下関市彦島江ノ浦7町 0832(66)7416	古賀 力
〃 徳山営業所	徳山市児玉町3-15 0834(21)1886	〃
〃 岩国営業所	岩国市元町4-2-22 0827(21)4496	〃
山陽資材(株)	徳山市代々木通り1-30 0834(21)4433	花田 晃美
武石防蟻化学研究所	防府市上勝坂 0835(22)5579	武石 虎雄
マルイ薬品(有)	吉敷郡小郡町山手下 08397(2)2201	伊藤 明・松本 健・松永 啓子
山口県薬業(株)	山口市大字朝田1050-1 08392(2)1990	田口 清市
(株)山口農芸化学試験所	防府市中央町13-31 0835(22)7332	安達 洋二
<徳島>		
弘和薬品(株)本社	徳島市万代町5-71 0886(54)6151	松岡 利雄
〃 徳島営業所	徳島市昭和町5-19 0886(22)9195	松岡 利雄
(株)住宅ケンコウ社	徳島市佐古一番町10-7 0886(22)3095	泉谷 文雄・米田 忠則・ 米本 安秀・米本 照彦
鳴門市白蟻研究所	鳴門市撫養町南浜蛭子前37-1 0886(6)2015	
(株)鳴門白蟻研究所	海部郡海部町高園 08847(3)0489	野村 渡
鳴門防虫防腐工業(株)	徳島市富田浜2-10 0886(22)2448	吉田 勝広
<香川>		
香川県白蟻駆除対策研究所	丸亀市松屋町13 08772(2)2964	香川 徳次
神原薬業(株)	高松市西内町4-6 0878(51)0141	喜田 実・七星 正臣・喜多 一成

731-01
高松県安芸郡
宇布市町相田
83-2
08287-8-8574
湯田 勝征

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
喜多猿八商店 三共(株)高松営業所 真部歳一 中村化学工業(株)高松支店 (有)三好建材店	高松市松島町1-17 0878(31)3105 高松市中新町51 0878(31)0221 高松市松島町2-9-19 0878(31)8934 高松市太田上町961 0878(61)2671 綾歌郡飯山町上法軍寺945-1 飯山局671	喜多 俊雄 矢野 雄次・鎌田 成之・森下 高明 真部 歳一 安藤 俊昭 三好 芳信
<愛 媛>		
エヒメしろあり研究所 シロアリ高須賀駆除工作所 (株)住宅ケンコウ社松山出張所 (有)友清白蟻 中村化学工業(株)松山支店 (有)四国白蟻センター	新居浜市角野2632-1 0897(41)5761 松山市緑町1-6-5 0899(21)2261 松山市清水町2-19-1 0899(43)5385 松山市高砂町3-9 0899(43)5421 松山市大手町2-9-18 0899(21)0512 松山市清水町2-21-4 0899(22)1610	阿部 徳雄 清水 悟・清水 保子 越智 良彦 友清 重孝・西春 勝之 福島 宏次 (西岡 将元) 以下 豊岡 睦雄
<高 知>		
(株)住宅ケンコウ社本社 中村出張所 津野白蟻研究所	高知市比島町3-17-11 高知県薬師会館内 0888(22)6648 中村市一条通1-51 08803(5)4881 高知市桜井町2-2-37 0888(82)3979	猪俣 正夫・安岡 雅博 越智 学 津野 治水
<福 岡>		
イカリ消毒(株)福岡営業所 (株)今村化学工業白蟻研究所九州支店 伊佐産業(株) 江口白蟻研究所 粕屋白蟻工業所 九州白蟻防除工業(株) (株)金納理研白蟻防除工業社 (株)桑野しろあり工務店	福岡市西新7-5-20 092(82)7373 福岡市津福本町平島1019 09422(3)2522 福岡市若葉町27 092(41)6861 浮羽郡吉井町1429-13 09437 3359 粕屋郡篠栗町尾仲842 09294(7)1154 北九州市門司区高田1-13-25 093(38)1981 山門郡山川町野町1748-3 (2)2754 福岡市警固1-8-2 薬院ビル 092(75)0917	神田 一郎 佐藤 孝弘 中熊 幸司・福田 一元・田中 隆利 江口 昭七 尾形 栄一 石河鎮之助・嶋田 義憲 金納興三郎・金納 義治・金納 正充 桑野 田郎・片平 武・一角 力生 高田 良実・森山 大助・高田善市郎 前田 輝男 古賀 力 鶴村 毅
(株)古賀工務店本社 福岡営業所 山陽木材防腐(株)福岡営業所	飯塚市西町6-43 09482(2)2828 福岡市赤坂1-13-38 赤坂ビル 092(75)1886 福岡市渡辺通2-1街区82 電気ビル別館 092(78)4735	大村 哲正・宮垣 正則・寺田 一道 尾花 三男 稲田 了・矢野 有富栄一郎 高木 新吾・沖 隼人・松尾 栄 竹野九州男 篠隅 徳雄・早定 政雄・定村 康彦
三和薬品(株)白蟻事業部 福岡営業所 三共(株)福岡支店 (有)新栄白蟻工務店 (有)高木しろあり工務店 竹野しろあり工務店 高砂白蟻工業(株)	北九州市門司区社ノ木16-6 093(38)4331 粕屋郡粕屋町沖原 福岡市下呉服町1-6 092(28)8121 北九州市八幡区引野3-1180 093(62)4754 福岡市大手門1-6-9 092(74)5844 田川市大字川宮128 09474(2)1390 北九州市小倉区中井錦ヶ丘550 093(57)0031	成吉 重春 田中 正之 千原 博
(株)田中白蟻工業所 千原工務	福岡市渡辺通り1-8街区13 092(78)7705 筑後市大字山ノ井 0942(52)4573 鞍手郡宮田町竜徳川東 094942(2)0950	<山 下 清 雄>

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所属防除士名
寺崎白蟻研究所	久留米市津福本町1210 09422(2)7441	寺崎九州男
戸次白蟻工務店	福岡市箱崎白浜町4組 092(65)3975	戸次 登
(有)友清化学工業白蟻研究所	福岡市井尻栄町372 029(59)1439	足利 義耀・宮添 勝
〃 福岡支店		
西日本しろあり研究会	山門郡山川町 09446(2)2395	今村小三郎
支店	大牟田市三池町 09445(2)2184	〃
日本マニット(株)九州支社	筑後市和泉343 0942(52)4465	黒鳥 四朗 深町 要
日本住宅公団福岡支所	福岡市長浜2-2-4 092(77)4111	福島 正光
(株)紅屋化成産業	北九州市八幡区山王1-7-29 093(66)1200	伊規須 智
(合)大和白蟻工務店	飯塚市菰田西2-3-48 09482(2)7655	杉田 直樹
(株)吉野白蟻研究所	福岡市天神1-10-31 092(75)7404	吉野 利夫・村田 治義・吉見 悟 金子 将良・松崎 和明・本吉 貞純
(株)丸高商会	福岡市大手門1-3-22 092(74)7695	高月 等・田嶋 一郎
宮本白蟻工務店	福岡市箱崎米山町上小寺3 092(65)3664	宮本 慶一
千葉白蟻工務店	北九州市小倉区城野水町2 093(93)2977	千葉 幸世
<佐 賀>		
江崎しろあり工業所	佐賀市 白田1-4-4 ^{西内1-5-35} 09522(4)4758	江崎 隆徳・江崎 常子
(有)友清化学工業白蟻研究所	唐津市栄町 09557(2)2981	吉田 鬼知郎・河上 利紀
唐津支店		
西日本しろあり研究会 支店	佐賀市中野館町 09522(4)1664	今村小三郎
<長 崎>		
亜細亜白蟻研究所	諫早市小豆崎町1057 09572(2)3039	川原 武夫・ 梶原 武夫
大田白蟻研究所	長崎市矢ノ平町478 0958(22)8436	大田 秀一・大田ミサヲ・大島 和夫
柿原白蟻研究所	佐世保市須田尾町2-26 0956(31)6582	柿原 早苗
〃 長崎出張所	長崎市上戸町1-136 0958(78)3775	柿原 八士・松尾 浩享
(有)梯衛生設備工業所	佐世保市上戸町7-9 0956(22)6948	梯 長次郎
(有)長崎白蟻	長崎市伊勢町54 0958(22)6032	満山 愛次・満山 洋治
自産白蟻駆除工業社	佐世保市藤原町36-4 0956(31)3639	竹之内九八郎・竹之内和子
西日本白蟻駆除研究所	長崎市上小島町524 0958(22)2711	田中 義郎
日本白蟻研究所	諫早市字都町23-3 0957(2)1296	馬場 徳
山口化学工業白蟻研究所	長崎市西山町4-340 0958(24)0439	山口 映治
(有)友清化学工業白蟻研究所	長崎市富士見町1-6 0958(61)5340	柿本 蘇一
長崎支店		
<熊 本>		
天草白蟻工業所	本渡市太田町5-11 09692(2)3969	浜田 真一
〃 栖本支店	天草郡栖本町 096942 12	浜田 征次・浜田 直記
イソベ化学白蟻工業	熊本市健軍町北原1373 0963(68)2520	磯部 洋志
(株)抜研白蟻薬販	熊本市黒髪町坪井607 0963(43)3432	豊田 隆雄 鬼塚 貞雄
(有)熊本白蟻工業社	熊本市新市街13-9 0963(53)1645	藤本 猛
(有)合志林工社	熊本市南熊本5-6-1 0963(66)4221	亀井 典生
山陽木材防腐(株)九州工場	八代市港町262-6 09653(7)0101	日原清比古
(株)水前寺白蟻研究所	熊本市水前寺2-27-18 0963(66)7545	一 武志
瀬倉白蟻工業所	熊本市健軍町1408 0963(66)2579	瀬倉 健司 ・北野 春雄
太陽白蟻研究所	熊本市若葉町32-6 0963(68)5665	登田 雅敬
タケダ白蟻工業(有)	熊本市紺屋今町1-6 0963(54)1001	中村 一茂

長崎支所

(49)
49.12.11 (69)
5322

支所長

営業所名(個人営業所含む)	営業所所在地(電話番号)	所属防除士名
田代白蟻工業(株)	熊本市北千反畑3-11 0963(43)2219	坂口 兼重
戸木田白蟻工業所	熊本市秋津町秋田1693 0963(68)6837	戸木田文雄
(有)友清化学工業白蟻研究所	熊本市白山3-4-2 0963(64)4657	友清 重美・秋岡 元視・平島 正弘
豊岡白蟻工業(株)	熊本市清水町室園618-2 0963(43)0430	豊岡 政行・本田 一郎・梶原昭二郎 井上 直喜・藤田 衛
肥後化学白蟻研究所 前 菌 曾 右 衛 門	菊池郡大津町大字町451-3 09682 2021 熊本市清水町大字八景水谷1086 0963(44)8519	日吉 洋一 前菌曾右衛門
松本白蟻研究所	八代市袋町3-5 09653(2)4615	松本伊三郎
〃 第2営業所	八代市旭中央通21-2	〃
南九州衛研(株)	熊本市島崎町石神997 0963(52)5060	本田 弘之
三和白蟻工業	熊本市南千反畑町12-14 0963(52)4953	小森田 武
宮崎化学工業白蟻研究所	熊本市水前寺2-2-7 0963(64)9430	宮崎 勝
<大 分>		
(有)今村化学工業白蟻研究所	大分市豊町1-2-7 09752(2)6709	和田 清美
〃 中津支店	中津市福沢通り(西相銀前) 0979(2)6234	和田 善寛
(株)吉野白蟻研究所大分出張所	大分市千代町2-1-6 09752(2)7447	村田 治義
(有)新栄白蟻工務店別府出張所	別府市亀川四ノ湯 0977(6)2910	奥重 信雄
<宮 崎>		
大坪しろあり研究所	宮崎市永楽町227 0985(24)2344	大坪 弘司
押川白蟻駆除予防工務所	宮崎市大字浮田	押川 清保
金丸しろあり工務所	宮崎市神宮町179-1 0985(24)6264	金丸 正身
館野しろあり防除施工所	児湯郡高鍋町大字上江2044 09832(2)1658	館野 知春・館野玄一郎
中島白蟻予防工務所	延岡市春日町2-11 09823(2)3554	中島 泉
〃 日向営業所	日向市中町3-43 09825 2277	中島 庸雄
西日本しろあり研究所	宮崎市別府町3-9 労働会館1階 0985(24)3678	久保田 博
(合)宮崎病虫害防除 〃 コンサルタント	宮崎市船塚町77 0985(24)5620	児玉 勝・清家 和義・児玉 重文
南九州産業(株)	都城市葛蒲原町19-1-4 09823(22)4108	峯崎 定義
南九州産業(株)延岡出張所	延岡市山下町3 善正寺通 0986(2)3585	有賀 泰平
有元シロアリ工業(株)営業所	串間市西方字上郡 09877(2)1366	
<鹿 児 島>		
有元シロアリ工業(株)本社	肝属郡串良町上小原1888 099463 2180	有元 正・徳重 茂典
〃 営業所	鹿屋市西原町1-23-2 09944(3)2404	〃
〃	根占町川南 099424 2728	〃
アリ元白アリ研究所	串木野市下名1286	有元 秋光
〃 支店	川内市西向田町5-27 09962(2)6927	〃
揚村白蟻研究所	枕崎市宮前町22 09937(2)1397	揚村 達郎
(有)有川商会	大島郡徳之島町12929 カメツ局 327	有川 武盛
うばシロアリ防除施工所	串木野市日出町122	姥 清信
(有)大脇商会	鹿児島市荒田1-51-21 0992(54)2519	大脇 寛
大脇白蟻防除工業	鹿児島市平川町1112 0992(68)9118	大脇 明光
上東白蟻研究所	加世田市川畑11105 09935(4)6315	上東 春香
錦光シロアリ工務店	鹿児島市川上町3783-6-204 0992(43)2694	山下吉三郎

営業所名 (個人営業所含む)	営業所所在地 (電話番号)	所 属 防 除 士 名
坂元シロアリ研究所	贈於郡大崎町菱田818 099476 7726	坂元 徳次
佐々木しろあり研究所	出水市上知識1120-1 09966(2)0692	佐々木秀喜
三州シロアリ	鹿児島市柳町6-8 0992(22)7067	林 幸正
三州木材(株)	鹿児島市宇宿町450-101 0992(55)0171	木之下喜三
三幸化学白蟻工業所	鹿児島市郡元町2208 0992(55)7017	三浦 邦弘
〃 加治木営業所	始良郡加治木町新富 09956(2)2269	〃
白アリ田中理工社	出水市向江町武本8450 09966(2)0656	田中 実夫
白蟻駆除予防竹井研究所	鹿屋市札元1-2-16 09944(2)4021	竹井 昇・柳谷 時春
田中白蟻駆除予防工務店	川辺郡川辺町平山2431 09935(6)0129	田中 広美・田中 義治・田中 善藏
徳田化学工業白蟻防除研究所	鹿児島市荒田1-40-16 0992(58)3020	徳田 敏秋
〃	日置郡吹上町田尻937 099275(76)93	〃
(株)永田シロアリ研究所	鹿児島市千日町1-1 0992(22)6688	永田 光弘・永田 和宏・右田 光雄
(有)南海白蟻駆除予防工務所	鹿児島市大竜町2-9 0992(23)1700	徳永 親志・小松 登・下福 義則
(株)西日本シロアリ	鹿児島市山下町15-13 0992(22)3603	福永 庄司・上唐湊栄三・有水 邦夫
大島支店	名瀬市幸町19-8 09975(2)0162	堀 直哉
日高白蟻駆除予防工務所	川辺郡川辺町平山2353 09935(6)0464	日高 親雄
広瀬産業(株)	鹿児島市堀江町2-18 0992(22)2511	広瀬 末亀
藤田白アリ駆除予防工務所	川辺郡川辺町平山2353 09935(6)0853	藤田 広志
富士シロアリ	加世田市小湊8111 09935(3)9207	出来 正
〃 鹿児島市営業所	鹿児島市草牟田町 0992(20)2222	〃
松元シロアリ防除化学社	鹿児島市谷山塩屋町702 0992(68)8352	松元 俊雄
営業所	揖宿郡穎姪町上別府5558 09933(8)0337	松元 俊一
南日本白蟻研究所	鹿児島市新照院町59 0992(23)8983	末広 淳
やすだ白アリ駆除予防工務所	出水市武本11207	泰田 賢一
柳田金物店	西之表市東町95 09972(2)1551	柳田 常寿
山中シロアリ研究所	鹿児島市川上町805-5	山中 良秀
山之内白アリ研究所	薩摩郡東郷町奥野1209 0996203 5346	山之内芳明
吉永工務所	川辺郡川辺町2346 09935(6)0662	吉永 政弘
<沖 縄>		
沖縄害虫対策研究社	那覇市安里5, (32)3372 541712	内田 実
沖縄白蟻工業社	那覇市与儀49 (32)1737	小嶺 幸一
(合)興南化学	那覇市上泉町1-25 (32)5790	石川 重信
国際しろあり防除工事社	那覇市壺屋町203	喜納 兼俊
小嶺 稔	那覇市首里儀保町1-25 (32)6843	小嶺 稔
三共白蟻工事社	嘉手納村嘉手納211 (276)2545	宮城 政吉
昭と和白蟻社	那覇市牧志町2-37 (33)1022	儀間 元久
(株)新洋商会キンラモン工事部	那覇市字大道151-2	新城 清吉・平井幸三郎
総合白蟻工事社	那覇市上泉町1-49 (32)9892	金城 英文
中部白蟻工事社	嘉手納村字嘉手納429 (076)2806	宮城 練徳
東洋白蟻工事社	宮古平良市下里700-2 4128	池間 正武
南部白蟻工事社	与那原町字与那原3106 (095)2384	津波古 苗
南西白蟻工業所	那覇市寄宮192 (32)7921	田盛 広助
名護中央白蟻工事社	名護市字宮里223-1 (052)2802	比嘉 栄助
復興白蟻予防駆除専門工事社	嘉手納村字嘉手納300 (076)2277	中村 元吉
平和白蟻工事社	那覇市安里382 (32)0063	川田 茂夫・川田 繁三
北部白蟻工事社	名護市字名護757 (2)3153	仲田 良夫

しろあり防蟻材料認定商品名一覧表

昭和46年9月30日現在

152

認定番号	商品名	注入薬剤	製造元		電 信
			名 称	所 在 地	
第1号	グリーンウッド	トヨゾールおよび ポリデンソルト	東洋木材防腐株式会社	大阪市此花区桜島37番地	06(461) 0431-3
第2号	PGスケーヤーおよび PGアピトン	ペンタグリーン	山陽木材防腐株式会社	東京都千代田区丸の内 2丁目3番2号	03(281) 3467
第3号	サンイン PGスケーヤー	ペンタグリーン	山陰木材防腐株式会社	東京都千代田区有楽町 1-5	03(212) 7888
第4号	ポリデンウッド	ポリデンソルト	越井木材工業株式会社	大阪市住吉区平林北之町 6番4号	06(685) 2061
第5号	富士土台	ポリデンソルト	清水港木材産業協同組合	清水市富士見町 1丁目12番地	0543(53) 3231

しろあり関係者および防除士
受験者の必読の書!!

652

126

「しろあり防除ガイド」

編集発行 社団法人 日本しろあり対策協会

東京都港区芝西久保明舟町19 (住宅会館)

電 話 (501) 3 8 7 6

内 容

- 第 1 章 シロアリの昆虫学的知識
- 第 2 章 シロアリ防除薬剤に関する知識
- 第 3 章 シロアリ防除処理施工に関する知識
- 第 4 章 木造建築物のシロアリ防除処理仕様書に関する知識
- 第 5 章 建築に関する知識

A 5 版

1 6 3 頁

頒 価 5 0 0 円

しろあり防除薬剤認定商品名一覧表

(46. 10. 31 現在)

用途別	商 品 名	認定 番号	仕様書による薬剤種別等			製 造 元	
			種 別	指定濃度	稀釈 剤	名 称	所 在 地
予防剤	アグドックスグリーン	番 号 1001	Ⅲ種, Ⅳ種—O	原 液	—	(株)アンドリュウス 商会	東京都港区芝公園 5号地5
〃	アリアンチ	1002	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	三共(株)	中央区銀座2— 7—12
〃	アリコン	1003	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	近畿白蟻(株)	和歌山市雑賀屋 町東ノ丁
〃	アリトン	1004	Ⅲ種, Ⅳ種—W	原 液	—	深町白蟻駆除予防 (株)	鹿児島市照国町 18番地の3
〃	アリノン	1005	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	山宗化学(株)	東京都中央区八 丁堀2の3
〃	アントキラ	1006	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	富士白蟻研究所	和歌山市東長町 10丁目35
〃	ウッドキーパー	1007	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	ウッドキーパー(株)	東京都渋谷区渋谷 2の5の9
〃	ウッドリン—O	1008	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	日本マレニット(株)	東京都千代田区 丸ノ内2の4の1
〃	オスモクレオ	1009	Ⅲ種, Ⅴ種—O	ペースト 状のまま	—	(株)アンドリュウス 商会	
〃	オスモサー	1010	(仕様書の特記による拡散法に適 用する予防剤)			〃	
〃	第1種テルミサイドA	1011	Ⅰ種, Ⅱ種, Ⅲ種 Ⅳ種, Ⅴ種—O	原 液	—	第一防腐化学(株)	東京都港区芝浜 松町2の25
〃	第1種テルミサイドAS	1012	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	〃	
〃	ネオ・マレニット	1013	Ⅰ種, Ⅱ種, Ⅲ種 Ⅳ種, Ⅴ種—W	30倍以内	水	日本マレニット(株)	
〃	モニサイド	1014	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—W	50倍以内	水	武田薬品工業(株)	大阪市東区道修 町2の27
〃	キシラモンTR	1015	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	〃	
〃	ポリテンソルトK33	1016	Ⅰ種, Ⅱ種, Ⅲ種 Ⅳ種, Ⅴ種—W	50倍以内	水	越井木材工業(株)	大阪市住吉区平 林北之町6の4
〃	ペンタグリーン	1017	Ⅳ種, Ⅴ種—O	原 液	—	山陽木材防腐(株)	東京都千代田区 丸ノ内2の3の2
〃	ターマイトキラ—1号	1018	Ⅰ種, Ⅱ種, Ⅲ種 Ⅳ種, Ⅴ種—O	原 液	—	東洋木材防腐(株)	大阪市此花区桜 島町37
〃	A. S. P.	1019	Ⅰ種, Ⅱ種, Ⅲ種 Ⅳ種, Ⅴ種—W	30倍以内	水	児玉化学工業(株)	東京都中央区銀 座6—5—8
〃	ターマイトン	1020	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	前田白蟻研究所	和歌山市小松原 通り4—1
〃	アリシス	1021	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	東洋木材防腐(株)	
〃	ケミドリン	1022	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—W	20倍以内	水	児玉化学工業(株)	
〃	バルトンR76	1024	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	(株)アンドリュウス 商会	
〃	サトコート	1025	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	イサム塗料(株)	大阪市福島区鷺 州上1丁目6
〃	ケミドリン—O	1026	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	児玉化学工業(株)	
〃	アリサニタ	1027	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	日本油脂(株)	東京都千代田区 有楽町1—5
〃	アリキラ—1号ヤマト	1028	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—W	10倍以内	水	東都防疫本社	東京都豊島区池 袋本町1034—10
〃	ウッドエースC	1029	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	日本カーリット(株)	東京都千代田区 丸ノ内1—6—1
〃	ギポー	1030	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	吉田化薬(株)	東京都千代田区 外神田1—9—9
〃	フジソルト	1031	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—W	4%以上	水	富士鋼業株式会社	藤枝市仮宿1357
〃	ハウステイン	1032	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種—O	原 液	—	関西ペイント株式 会社	大阪市東区伏見 町5丁目27

//	T-7.5-7号油剤	1033	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-W	原液	—	井筒屋化学産業株式会社	熊本市花園町 108
//	T-7.5-乳剤Q	1034	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-W	5倍	水	//	
//	AL-O	1035	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-O	原液	—	㈱三共消毒	東京都品川区大井 5丁目26-22
//	フマキラーウッド100	1036	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-O	原液	—	フマキラー㈱	東京都神田美倉町 11番地
//	ブチノックス	1037	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-O	原液	—	越井木材工業㈱	
//	キシラモンヘル	1038	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-O	原液	—	武田薬品工業㈱	
//	ネオアリス	1039	Ⅰ種, Ⅱ種, Ⅲ種 Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	東洋木材防腐㈱	
//	ウッドリン	1040	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-W	10倍以内	水	日本マレニット㈱	
//	ウッドエース	1041	Ⅱ種, Ⅲ種, Ⅳ種 Ⅴ種-O	原液	—	日本カーリット㈱	
駆除剤	アリアンチ	2001	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	三共㈱	
//	アリス	2002	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	東洋木材防腐㈱	
//	アリトン	2003	Ⅴ種-W	原液	—	深町白蟻駆除予防 ㈱	
//	アリノン	2004	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	山宗化学㈱	
//	ウッドキーパー	2005	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	ウッドキーパー㈱	
//	ウッドリン	2006	Ⅳ種, Ⅴ種-W	10倍以内	水	日本マレニット㈱	
//	三共アリコロシ	2007	Ⅳ種, Ⅴ種-W	10倍以内	水	三共㈱	
//	第2種テルミサイド	2008	Ⅳ種, Ⅴ種-W	2倍以内	水	第一防腐化学㈱	
//	メルドリン	2009	Ⅳ種, Ⅴ種-W	10倍以内	水	日本マレニット㈱	
//	モニサイド	2010	Ⅳ種, Ⅴ種-W	25倍以内	水	武田薬品工業㈱	
//	キシラモンTR	2011	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	//	
//	サンブレザー	2012	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	山陽木材防腐㈱	
//	アントキラー	2013	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	富士白蟻研究所	
//	ターマイトキラー1号	2014	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	東洋木材防腐㈱	
//	ターマイトン	2015	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	前田白蟻研究所	
//	アリス	2016	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	東洋木材防腐㈱	
//	ケミドリン	2017	Ⅳ種, Ⅴ種-W	20倍以内	水	児玉化学工業㈱	
//	アリゼット	2020	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	協和化学㈱	鯖江市神中町2 丁目3-36
//	コロナ	2021	Ⅳ種, Ⅴ種-W	10倍以内	水	みくに化学㈱	東京都台東区東 上野3-36-8
//	アグトックスクリヤーC	2022	Ⅳ種, Ⅴ種-W	5倍以内	水	㈱アンドリュウス 商会	
//	ケミドリン-O	2023	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	児玉化学工業㈱	
//	T.D.M	2024	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	㈱山島白蟻	清水市大和町40
//	アリサニタ	2025	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	日本油脂㈱	
//	アリキラー1号	2026	Ⅳ種, Ⅴ種-W	10倍以内	水	東都防疫本社	
//	ウッドエースC	2027	Ⅳ種, Ⅴ種-O	原液	—	日本カーリット㈱	

〃	T-7.5-乳剤Q	2028	IV種, V種-W	5 倍	水	井筒屋化学産業(株)	
〃	ネオケミドリン	2029	IV種, V種-W	10倍以内	水	児玉化学工業(株)	
〃	AL-O	2030	IV種, V種-O	原 液	—	(株)三共消毒	
〃	ウッドリン-O	2031	IV種, V種-O	原 液	—	日本マレニット(株)	
〃	フチノックス	2032	IV種, V種-O	原 液	—	越井木材工業(株)	
〃	キシラモンヘル	2033	IV種, V種-O	原 液	—	武田薬品工業(株)	
〃	ネオアリス	2034	IV種, V種-O	原 液	—	東洋木材防腐(株)	
〃	ウットエース	2035	IV種, V種-O	原 液	—	日本カーリット(株)	
土 壌 処 理 剤	アリテン末	3001		原 粉	—	三共(株)	
〃	アリテン	3002		20倍以内	水	〃	
〃	アリノンSM	3003		50倍以内	水	山宗化学(株)	
〃	アリノンパウダー	3004		原 粉	—	〃	
〃	クレオーゲン	3005		3 倍以内	水	東洋木材防腐(株)	
〃	メルドリン	3006		10倍以内	水	日本マレニット(株)	
〃	メルドリンP	3007		原 粉	—	〃	
〃	モニサイド	3008		25倍以内	水	武田薬品工業(株)	
〃	テフトリン	3009		10倍以内	水	東和化学(株)	広島市鉄砲町1 —23
〃	アントキラー	3010		原 粉	—	富士白蟻研究所	
〃	ターマイトキラー2号	3011		20倍以内	水	東洋木材防腐(株)	
〃	ターマイトンSD	3012		10倍以内	水	前田白蟻研究所	
〃	アントキラー乳剤	3013		30倍以内	水	富士白蟻研究所	
〃	ソリュウム粉剤	3015		原 粉	—	(株)山島白蟻	
〃	ケミドリン乳剤	3016		20倍以内	水	児玉化学工業(株)	
〃	ケミドリンP粉剤	3017		原 粉	—	〃	
〃	キルビ	3018		5 倍以内	水	武田薬品工業(株)	
〃	T-7.5乳剤U	3019		10 倍	水	井筒屋化学産業(株)	
〃	アリコロン粉剤	3020		原 粉	—	尼崎油化(株)	尼崎市三反田町 7 番35号
〃	AL-W	3021		30倍以内	水	(株)三共消毒	
〃	サンソイル	3022		5 倍以内	水	山陽材木防腐(株)	
〃	ネオクレオーゲン	3023		3 倍以内	水	東洋木材防腐(株)	

仕様書による薬剤「種別」……………社団法人日本しろあり対策協会木造建築物の「しろあり」
 防除仕様書の木材処理方法の項に定められた種別である。浸漬
 I種……^{加圧処理法}温冷浴処理法 II種……^{浸漬}浸漬処理法 III種……^{浸漬}塗布処理法
 IV種……^{吹付け処理法}吹付け処理法 V種……^{穿孔処理法}穿孔処理法 O……………油性又は油溶性薬剤の略称である
 W……………水溶性又は乳剤の略称である